

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる				
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	87.4% (H29)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	<p>成果指標「幸福感」については、平成 29 年度は 87.4%となった。アンケートでは「経済的安定」「健康状態」等を判断材料とされた割合が高かった。</p> <p>平成 30 年度第 1 四半期の取り組み状況は【政策 1 住みたい・住み続けたい環境の充実】では、1 月から 6 月までの出生数は 62 人で昨年比 11 人増加したが、社会動態は、99 人の転出超過で 37 人拡大。移住定住奨励金は同程度の 12 件だった。婚活では庁内窓口を一本化し、商工会や社協も含めた結婚相談員連絡協議会を組織した。</p> <p>【政策 2 住みよい持続可能なましこの創生】について、花のまちづくりでは小宅古墳群に多くの来場者があった。またひまわり・コスモス祭の準備を進めた。自然エネルギー補助金関係では町HPや広報・お知らせ版に掲載するとともに窓口チラシを用意し PR に努めた。ごみ減量化では資源物回収に新規で 1 団体が参加した。</p> <p>【政策 3 健康・長寿ましこづくりの推進】では、4 月から毎月第 3 火曜日を「健康デー」として保健センターで運動実技や個別指導を実施し好評である。昨年までの「歩け歩け大会」に変わり町内の「ましこ健康ウォーク」を実施、28 名の参加があった。道の駅では地元農産物の販売や食の提供を行った。チャレンジクラブでは職員が変わったので運営がスムーズにいくよう支援を行った。</p> <p>【政策 4 だれもがいきいきと生活できる環境の充実】では、6 月末のサロン・予防教室参加人数は昨年同期とほぼ同数 291 名。デマンドタクシー利用者も順調に増加している。各小中学校では高齢者と、加えて七井小・七井中では益子特別支援学校と交流活動を行った。</p> <p>【政策 5 地域の安全・安心の強化】で 1~5 月の交通事故発生件数は 6 件で昨年比 1 減だったが、刑法犯は 10 件増の 47 件で、特に車上狙いが増加した。</p>	<p>【政策1】で、お試し住宅は 7 月から 11 月にかけて 3 件の予約が入っているので、入居者への事後相談等を積極的に行っていく。婚活では協議会構成団体の情報の共有を図るとともに協力して婚活事業を進める。子育て支援では施設の事業内容の充実を図る。</p> <p>【政策 2】について、里山整備では地元管理団体への支援に努める。ひまわり祭では来場者の駐車場の確保に努める。自然エネルギーでは引き続き補助制度の浸透を図る。家庭用生ゴミについては生ゴミ専用袋の使用方法の PR に努め、燃えるゴミへの混入を防ぐ。</p> <p>【政策3】では、健幸ポイント事業の充実や周知を図るとともに地域通貨への交換も促す。運動習慣の推進や年に1回は健康診査を受診するよう啓発活動を行う。また特定保健指導や個別栄養相談を通して生活習慣病予防への意識改革や行動変化につながるよう支援していく。益子産野菜を使った健康レシピコンテストを開催し、家庭で野菜を使った料理が定着するようPRする。チャレンジクラブでは、今後も会員増につながるよう広報やイベントを計画する。</p> <p>【政策4】では、現在各サロンとも運営は安定しており、参加者は増加傾向にある。今後も会員増に向けてサロンの魅力発信をボランティアと検討する。小中学校の交流活動では福祉施設訪問や施設利用者との交流ができるよう支援を行う。生涯学習課では引き続き「いきいき講座」を支援する。</p> <p>【政策5】では、今後とも交通事故減少に向け、安全教室の開催や県と連携しながら道路環境の整備に努める。また見守り活動として青色パトロールを行うとともに、スクールガードの確保に向け募集を行う。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる				
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	87.4% (H29)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第2 四半期	<p>【政策 1 住みたい・住み続けたい環境の充実】では、1月から9月までの出生数は94人で昨年比14人増加、社会動態は、103人の転出超過で20人拡大。傾向として転出は20代の単身者、転入は30代の家族連れが多い。子育て支援施設が7月にオープン、9月末までの利用者は3,242人。お試し住宅は2件の利用があり、移住定住相談件数は47件だった。</p> <p>【政策 2 住みよい持続可能なましこの創生】について、ひまわり祭は天候をはじめ諸条件に恵まれ過去最高の入場者となった。里山整備では前沢町有林整備の業者発注を行った。ごみ資源化では生ゴミの自家処理についてホームページ・フェイスブック等で啓発活動を行った。</p> <p>【政策 3 健康・長寿ましこづくりの推進】では、健康ポイント事業に52名の新規加入があり、計478名の参加者となった。月1回の健康デーでは体組成計測定・運動実技・栄養相談・保健指導等の個別指導を実施し生活習慣病予防に努めた。また、現当地元産食材を使用した「健康レシピ」を募集中で、特別賞は道の駅でメニューとして提供予定。チャレンジクラブの会員数については前年同期と比較して横ばいの状態。</p> <p>【政策 4 だれもがいいきと生活できる環境の充実】では、9月末のサロン・予防教室参加人数は293名。またサロンにおいては新たなボランティアが加入し運営も安定している。デマンドタクシー利用者も順調に増加。小中学校では運動会で高齢者と交流活動を行った。</p> <p>【政策 5 地域の安全・安心の強化】で1～8月の交通事故発生件数は11件で昨年比1減だったが、4年11月ぶり死亡事故が発生してしまった。刑法犯発生状況は8月末で昨年比8件減の61件だった。通学路では関係団体より7箇所の新規危険箇所申請があった。</p>	<p>【政策1】で、お試し住宅は12月以降の予約はないが、ホームページへのアクセス件数は多いので今後も入居者への事後相談等を積極的に行っていく。婚活では夜間結婚相談会の相談者がほぼ皆無なので、相談会のあり方について検討する。子育て支援施設においては今後も子育て支援につながるよう内容の充実を図る。</p> <p>【政策 2】について、里山整備では県民税事業の地元管理団体への支援に努める。自然エネルギーでは広報等を活用し、引き続き補助制度の浸透を図る。ゴミ関係では、生ゴミについては生ゴミ処理事業及び自家処理についてPRに努め、燃えるゴミへの混入を防ぐ。エコ土曜日についてもイベント等で積極的にPRしていく。</p> <p>【政策3】では、年に1回は健康診査を受診するよう啓発活動を行う。また「健康デー」における体組成計測定利用者は毎月定員の50名近い利用者があり、新規での利用者も多い。若い世代の利用者も増えてきたので、今後ともPRに努め自分の体の状態を知ってもらうことにより、生活習慣病等の予防への意識改革や行動変化につながるよう支援していく。チャレンジクラブでは、今後とも会員増につながるよう広報やイベントを計画する。</p> <p>【政策4】では、現在各サロンとも運営は安定しており、参加者は増加傾向にある。今後も会員増に向けてサロンの魅力発信をボランティアと検討する。小中学校の交流活動では福祉施設訪問や施設利用者との交流ができるよう支援を行う。</p> <p>【政策5】では、今後とも交通事故減少に向け、安全教室の開催や県と連携しながら道路環境の整備に努めるとともに、見守り活動として青色パトロールの強化を図る。また特殊詐欺が増加傾向にあるので警察と連携しながら注意喚起を行う。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる				
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	本年度 目標値	76.0%	現状値	87.4% (H29)
成果指標		本年度 目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第3 四半期	<p>【政策 1 住みたい・住み続けたい環境の充実】では、年間出生数は目標値 182 人に対し 115 人。社会動態は、目標 5 人の転出超過に対し 124 人の超過となった。子育て支援施設の第 3 四半期の利用者は約 2,600 人。12月までの移住定住相談件数は 65 件で、うち 40 件が道の駅だった。</p> <p>【政策 2 住みよい持続可能なましこの創生】について、コスモス祭では夜祭も開催し約21,000人の来場者があった。太陽光発電やペレットストーブについて町民まつりでPRを行った。各種イベントでは「エコ土曜日」のPRに努め、減少している生ゴミの堆肥化事業では各地域のゴミステーションを巡回し、排出量調査を行った。</p> <p>【政策 3 健康・長寿ましこづくりの推進】では、毎月の健康デーや 11 月の町民まつりで体組成計測定・運動実技・栄養相談・保健指導やウォーキング・サイクリングコース等紹介した。地元産食材を使用した「健康レシピコンテスト」は応募点数が少なく実施方法に課題が残った。郷土料理の「お正月の和菓子教室」は小さいお子さんとの親子を対象に開催したが好評だった。チャレンジクラブの会員数については前年同期と比較して横ばいの状態。</p> <p>【政策 4 だれもがいいきと生活できる環境の充実】では、12 月末のサロン・予防教室参加人数は 303 名。もの忘れ予防教室やサロンの参加者が増加した。デマンドタクシー利用者も順調に増加。小中学校では各学校の福祉教育計画に従い、高齢者や特別支援学校と交流活動を行った。</p> <p>【政策 5 地域の安全・安心の強化】で 1~11 月の交通事故発生件数は昨年比 2 減の 17 件で、人口 1 万人当たり事故発生率は県内一低い。刑法犯発生状況は 11 月末で昨年比 8 増の 92 件。新たに 8 名の方がスクールガードに登録。通学路では 7 箇所危険箇所について交通安全対策推進協議会で対策内容を協議した。</p>	<p>【政策 1】で、お試し住宅は入居者への事後相談等を積極的に行っていく。空き家・空き地バンクでは所有者への効果的な情報発信を検討するとともに、未登録者への登録勧奨を積極的に行う。子育て支援施設においては利用者が減少傾向にあるので、今後も子育て支援につながるよう内容の充実を図り、利用者増を図る。</p> <p>【政策 2】について、コスモス祭は来年度も開催することを実行委員会で決定。里山整備では引き続き地元管理団体への支援に努める。自然エネルギーではPR 方法等を研究し、補助制度の浸透を図り、自然エネルギーの普及に努める。ゴミ減量化では、イベント時の啓発活動やHP等の広報だけでなく、女性団体等の会議などでも積極的にPRしていく。</p> <p>【政策 3】では、「健康デー」における体組成計測定利用者は毎月定員の 50 名近い利用者がある。測定結果を生活習慣の改善や運動習慣の定着になるよう指導方法等の充実を図る。健幸ポイントも登録者が増加しているため、運動の動機付けとなるよう勧奨していく。健康レシピコンテストは実施方法、広報活動等について検討を図る。チャレンジクラブでは、今後も会員増につながるよう広報やイベントを計画する。</p> <p>【政策 4】では、サロンの安定した運営や「もの忘れ予防教室」受講者が自主的に教室運営ができるよう支援していく。デマンドタクシーではPRに努めるとともに、委託業者と連絡調整を図り利用者へのサービス向上と運行に係る収支率の改善に努める。</p> <p>【政策 5】では、今後とも交通事故減少に向け、安全教室の開催や県と連携しながら道路環境の整備に努める。依然として特殊詐欺被害に遭う方がいるので警察と連携して注意喚起・啓発活動を行う。また入学時期になるので新規スクールガードの加入に向け啓発・募集に努める。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる				
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	本年度目標値	76.0%	現状値	87.4% (H29)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次年度の方針
本年度総括 (第4四半期分も含む)	<p>【政策 1 住みたい・住み続けたい環境の充実】では社会動態は本年度の目標値、5 人の転出超過に対し 124 人の転出超過、出生数は目標値 182 人に対し 115 人だった。移住定住関係では 1 年間で 91 件の相談件数、41 件の奨励金交付があり、対象世帯員数は 145 人だった。子育て支援施設は7月から開所し、利用延べ人数は 8,118 人で目標 4,500 人を大きく上回った。子育て応援手当の支給率は前年より 0.9%アップの 96.3%だった。</p> <p>【政策 2 住みよい持続可能なましこの創生】では、里山整備は目標値 35 箇所に対し 36 箇所を整備。エネルギー需給率は目標 20.0%に対し 31.03%になった。ごみ回収では、エコ土曜日が周知され資源物や小型家電・廃油等の回収が増加したが、家庭系の生ゴミ堆肥化排出量は減少傾向にある。</p> <p>【政策 3 健康・長寿ましこづくりの推進】では、1 年間の健幸ポイント事業申請者は 584 名に達し、また体組成計測定者は延 534 人うち新規利用者は 78 人で、健康志向の高まりの表れと感じる。「健康デー」等で個別栄養相談を行っているが、メタボリックシンドローム該当者、予備軍はいずれも目標値に達することができなかった。</p> <p>【政策 4 だれもがいきいきと生活できる環境の充実】では介護予防教室・高齢者サロン 308 人が参加(目標値 269 人)、雛めぐりでは作品を展示し参加した。各学校においては高齢者、特別支援学校との交流事業を実施。デマンドタクシーの利用者累計は 14,960 人で前年から 1,766 人増加している。</p> <p>【政策 5 地域の安全・安心の強化】では刑法犯目標値 61 件に対し 98 件で昨年より 10 件増加、交通事故目標値 19 件に対し 17 件で、昨年より 6 件減少。</p>	<p>【政策 1】では、移住定住については町が目指すターゲット層に沿った事業・情報発信を行う。空き家バンクについては成約が順調に伸びているが、課題も出てきたため解決策を見出しながら推進する。子育て支援施設では事業内容の検証を行いながら、子育て支援を実施。子育て応援手当の拡充、乳児への紙おむつ券交付など、さらに子育て世代への支援を実施。</p> <p>【政策 2】では、里山整備では、31 年度整備予定箇所の地元の合意形成を図る。自然エネルギーでは特にバイオマスストーブについて町民への補助制度の浸透を図る。生ゴミについては堆肥化事業だけでなくコンポストや生ゴミ処理機の利用についても周知を図り、燃えるゴミへの混入減少を図る。</p> <p>【政策 3】では、健幸ポイント付加事業の拡充をはかり、より一層の普及を図る。「健康デー」については、定着が図られつつあり、体組成計測定と共に運動、栄養指導を拡充し健康づくりサポート体制の強化を図る。</p> <p>【政策 4】では、サロンは引き続き安定した運営ができるよう支援すると共に、参加者増のため周知方法等ボランティアと相談し実施。デマンドタクシーについては新たな移動手段として定着してきたが、乗り継ぎや利便性向上など課題もあるため、今後、公共交通全体の総合的な判断の準備を行う。</p> <p>【政策 5】では今後も防災無線や交通安全教室等により特殊詐欺等犯罪予防や交通安全の注意喚起に努める。見守り活動として引き続き青色パトロールを行うとともに、スクールガードの確保に向けスクールガードに健幸ポイントを付与する。通学路の安全確保については、関係機関と連携し対応を行う。</p>

		課局名	企画課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	選ばれる町への転換	進捗状況	100%		
KPI	人口の社会動態（暦年：1～12月）	本年度目標値	▲5人	現状値	▲124人(1～12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務		①②相談【企：3件】【道：6件】 ③奨励金【交付決定：8件】 ④お試し住宅【利用：0件】 ⑤バンク【登録：2件】【成約：0件】 空き地バンク：先進事例研究	
	5月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、体験ツアーの検討 ⑤空き家バンク登録可能物件の交渉 空き地バンク開設に向けた情報収集		①②相談【企：3件】【道：4件】 ③奨励金【交付決定：1件】 ④お試し住宅【利用：0件】 ⑤バンク【登録：2件】【成約：2件】 空き地バンク：先進事例収集 固定資産税納税通知書に制度周知チラシ同封（町外在住者のみ）	
	6月			①②相談【企：4件】【道：5件】 8月都内フェアに向け農政課と調整 移住促進冊子作成に向けた仕様書案検討 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：0件】、体験ツアー打合せ ⑤バンク【登録：1件】【成約：1件】 空き地バンク：意見交換会開催通知	
	7月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務		①②相談【企：5件】【道：6件】 8月都内フェアに向け農政課と調整 移住促進冊子作成に向けた仕様書案検討 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件(9人)、7/14～9/9】 ⑤バンク【登録：4件】【成約：1件】 空き地バンク：意見交換会7/3	
	8月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、体験ツアーの企画・募集 ⑤空き家バンク登録可能物件の交渉 空き地バンク開設に向け、協力事業者（宅建業者）との意見交換		①②相談【企：2件】【道：6件】【都内フェア：4件】 移住促進冊子作成に向け事前打合せ ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅【利用：0件(7月から継続)】、体験ツアー打合せ ⑤バンク【登録：1件】【成約：1件】【登録取下：4件】 空き地バンク：8/31意見交換会開催	
	9月			①②相談【企：1件】【道：2件】 移住促進冊子作成に向け事前打合せ ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件(2人)、9/15～10/14】、体験ツアー打合せ ⑤バンク【登録：0件】【成約：2件】 空き地バンク：要綱改正、空き家所有者への周知検討	
	10月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務		①②相談【企：4件】【道：4件】【都内フェア：17件】 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件(2人)、9/15～10/14】 体験ツアー【参加：1組3人】 ⑤バンク【登録：0件】【成約：0件】、空き地バンク：募集開始	
	11月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、体験ツアーの企画・募集 ⑤空き家バンク登録可能物件の交渉、空き地バンク開設		①②相談【企：0件】【道：3件】 ③奨励金【交付決定：0件】 ④お試し住宅【利用：1件(2人)、10/17～11/30】 体験ツアー【参加：8組10人】 ⑤バンク【登録：4件】【成約：2件】 空き家所有者への空き家活用意向調査【発送：37件】	
	12月			①②相談【企：3件】【道：4件】 ③奨励金【交付決定：9件】 ④お試し住宅 利用なし ⑤バンク【登録：2件】【成約：1件】 空き家所有者への空き家活用意向調査【回答：11件/37件】	
	1月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務		①②相談【企：3件】【道：4件】【都内フェア：9件】 移住定住促進冊子納品3,800部 ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅 利用なし ⑤バンク【登録：0件】【成約：1件】	
	2月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、体験ツアーの総括 ⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査		①②相談【企：2件】【道：6件】【都内フェア：3件】 ③奨励金【交付決定：4件】 ④お試し住宅【利用：1件(2人)、2/4～3/3】 ⑤バンク【登録：2件】【成約：0件】	
	3月			①②相談【企：6件】【道：5件】 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件(1人)、3/11～4/10】 ⑤バンク【登録：4件】【成約：1件】	

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>1～6月の社会増減：▲99人（転入：300人、転出：399人）</p> <p>①②第1四半期における相談件数は昨年度と同程度（H29：29件、H28：13件）で、道の駅での相談件数については前年度同期（7件）と比較し増加しているが、その要因はつかめていない。</p> <p>④お試し住宅は4月以降の利用がなかったが、7月から11月にかけて3件（入れ替え清掃期間（中2日程度）を除きほぼフル稼働）の予約が入っている。H29.12～H30.6までのお試し住宅HPアクセス数1,257件（月平均179件）となっている。</p> <p>⑤空き地バンクの制度化に向けては、実際に仲介を行う宅建業者（協力事業者）と十分な意見交換を行う必要がある。</p>	<p>①②H30年度以降、移住定住推進計画で定めたターゲット（第1：近隣市町在住の子育て世代、第2：UIJターンを希望する若者）に対する事業展開とともに、地方創生推進交付金の最終年度となることから、交付金対象事業の適正運営を図る。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、入居者へのフォローを積極的に行っていく。また、体験ツアーについては、ターゲットに対して有益となるメニュー・キーパーソンによる開催となるよう、開催内容の検討を深化させる。</p> <p>⑤本町にふさわしい空き地バンクとして運用していくため、7月に協力事業者と意見交換を行い第2四半期中の制度化を図る。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>1～9月の社会増減：▲103人（転入：410人、転出：513人）</p> <p>①②第2四半期までの企画課・道の駅相談件数は47件（H29：60件、H28：22件）と昨年度に比べやや減少し、うち道の駅での相談件数（H30：29件）については前年度同期（H29：16件）と比較し増加しているが、これらの要因はつかめていない。</p> <p>④お試し住宅は7月から11月にかけて3件（入れ替え清掃期間（中2日程度）を除きほぼフル稼働）の予約が入っているが、12月以降の予約は入っていない。なお、H29.12～H30.9までのお試し住宅HPアクセス数1,694件（月平均169件）となっており、コンスタントに検索されていることがうかがえる。</p> <p>⑤空き地バンクの制度は宅建業者との意見交換、要綱改正は終了したので、HP等広報媒体の修正を早期に進める必要がある。また、土地所有者等に対する空き地物件の募集についても進める必要がある。</p>	<p>①②H30年度以降、移住定住推進計画で定めたターゲット（第1：近隣市町在住の子育て世代、第2：UIJターンを希望する若者）に対する事業展開とともに、地方創生推進交付金の最終年度となることから、交付金対象事業の適正運営を図る。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、入居者へのフォローを積極的に行っていく。また、体験ツアーについては、ターゲットに対して有益となるメニュー・キーパーソンによる開催、周知となるよう、開催内容の検討を深化させる。</p> <p>⑤早期の空き地募集開始とともに、H29年度に行った空き家調査の空き家所有者あてに周知・アンケート等を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>1～12月の社会増減：▲124人（転入：531人、転出：655人）</p> <p>④お試し住宅利用者で移住後に農業を検討している方と圃場の縮小を検討している農家とのマッチングを行った。今後も積極的な支援等を行っていく必要がある。</p> <p>⑤空き家活用意向調査について、回答率29.7%（前回31.9%：22件/69件）、バンクへの登録希望率9.1%（1件/11件。前回13.6%：3件/22件）と、回答率・登録希望率ともに低調であった。</p>	<p>①②H30年度以降、移住定住推進計画で定めたターゲット（第1：近隣市町在住の子育て世代、第2：UIJターンを希望する若者）に対する事業展開とともに、地方創生推進交付金の最終年度となることから、交付金対象事業の適正運営を図る。                  なお、H31年度以降も地方創生推進交付金の活用が可能となったが、KPIを「移住定住相談件数」としていることから、移住希望者への効果的な情報発信を行う。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、入居者へのフォローを積極的に行っていく。また、体験ツアーについては、次年度から関係人口の創出にもつながるような開催に向けた事業内容で検討する。</p> <p>⑤バンクへの物件登録は、所有者等の意向によるものであることから、所有者等への効果的な情報発信と、これまでの登録希望者で登録に至っていない方への登録勧奨等を積極的に行う。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>1～12月の社会増減：▲124人（転入：531人、転出：655人）</p> <p>①②企画課・道の駅相談件数は91件（H29：99件、H28：49件）と昨年度に比べやや減少したが、うち道の駅での相談件数（H30：55件）については前年度同期（H29：27件）と比較し倍増している。</p> <p>③定住促進住まいづくり奨励金については41件で、前年度より8件の減。うち移住者については16件であり、ほぼ前年並みであった。</p> <p>④前四半期のお試し住宅利用者と農家のマッチングについて、移住という大きな決断なのでもう少し時間が必要であると利用者から連絡があった。継続的な支援を行っていく必要がある。</p> <p>⑤県内市町空き家バンクの成約率について、本町は72.4%と全体の3位（上位は2市が75%）であるが、さらに登録件数を増やし、定住を望む方のニーズを満たす必要がある。また、運営の中で登録時の障壁（相続、農地転用等）が現れたので、専門家である町内協力不動産業者との意見交換を行う必要がある。</p>	<p>①②移住定住推進計画で定めたターゲット（第1：近隣市町在住の子育て世代、第2：UIJターンを希望する若者）に寄り添った事業展開を図り、社会動態マイナスを減減させ0としていく。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、入居者へのフォローを積極的に行っていく。また、体験ツアーについては、次年度から関係人口の創出にもつながる事業内容で実施する。</p> <p>⑤バンク制度の積極的な周知とともに、バンク制度運営上の課題もいくつが出てきたので、町内協力不動産業者との意見交換を行い物件登録数を確保していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	情報媒体（町ホームページ・ワンストップサイト・冊子）は、町の独自性、強みを前面に出す発信と、ターゲット・移住希望者に寄り添った相談、アフターフォローをともに継続する。
	第2四半期	②意見・提言 移住定住相談件数47件とのことであるが、本事業は他自治体でも行っているような事業である。定住を促進するために本町他町では行っていない取組・独自性をPRしているのか。本町の魅力を感じてもらおうためのレンタサイクル無料貸出などをPRされるのはいかがか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	平成30年度に策定した益子町移住・定住推進計画では、近隣地域の事業所に勤務する子育て世代を第1のターゲットとしており、平成31年3月に近隣の工業団地に「ましこ里山手帖」を約2,300部を送付した。引き続き、ターゲットに合わせた情報発信や、空き家バンクの充実など、移住・定住推進計画に沿った施策の展開に努めていきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 積極的に外部（都内フェア）にPRを進めていくことはよいが、目線を変えて、近隣の工業団地の大きな企業に制作した「ましこ里山手帖」などを置いてもらうのはどうか。 空き家バンクについては、成約率が県内でも高い実績があるため、このまま継続していくとよい。	

		課局名	観光商工課			
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実			
施策	選ばれる町への転換	進捗状況	100%			
KPI	人口の社会動態（暦年：1～12月）	本年度目標値	▲5人	現状値	▲124人(1～12月)	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	5月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有		②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	6月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	7月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	8月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	9月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	10月			①②⑤空き店舗の状況について相談有。企画課と情報共有を図る。 ②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	11月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	12月			①②企画課より移住し起業したい方からの相談があった旨連絡有。 ②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	1月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		
	2月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	3月			①②企画課より海外から移住し、窯業をしたい方の情報提供有。 ②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②有効求人倍率が上がっている現状にある。そのため、実施内容は継続し、求人情報紙が届いたら速やかに道の駅や町関係施設等に配置し、町HPに掲載をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②求人情報紙が届いたら速やかに道の駅や町関係施設等に配置し、町HPに掲載をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②有効求人倍率が下がってきてしまっている現状にある。求人情報紙が届いたら速やかに道の駅や町関係施設等に配置し、町HPに掲載を続けている。 ⑤企画課と空き店舗活用をしたい相談の情報を共有することができた。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。 ⑤企画課と情報を共有し、空き店舗等を活用したい方により多くの情報提供をできるようにする。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②求人情報紙が届いたら速やかに道の駅や町関係施設等に配置し、町HPに掲載をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。 ⑤企画課と情報を共有し、空き店舗等を活用したい方により多くの情報提供をできるようにする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 有効求人倍率が下がってきている現状だが、引き続き迅速な事務処理を継続し、多くの方に就職情報が届くようにしていただきたい。	引き続き求人情報が届いたら迅速に処理をするように心掛けていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	住み続ける町への躍進	進捗状況	100%		
KPI	年間出生数（暦年：1～12月）	本年度目標値	182人	現状値	115人(1～12月)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①H29年度実施分の実績と地域通貨の残数の確認。 ②外構工事入札(4/25)	
	5月	①前年度の反省、今年度の実施方法の検討。 ②外構工事、備品等の購入などの開設準備 ③縁結びIT広域ネットワーク協議会の休廃止の決定 結婚相談等の新体制発足のための会議の開催 婚活イベントの開催 夜間結婚相談会の開催 ④子育て支援ガイドブックの配布。		①H29年度実績から見た今年度の実施方法の検討。 ②外構工事及び、備品等の購入、愛称募集 ③夜間結婚相談会（5/18）婚活イベントの開催(5/27)	
	6月			②外構工事、愛称決定、備品等の購入、職員の配置 ③益子町結婚相談連絡協議会の開催（6/12）、夜間結婚相談会（6/15）、縁結びIT広域ネットワーク協議会開催(6/22)	
	7月			②愛称「ましココロハウス」に決定、オープニングセレモニー・業務開始（7/8）、壁塗り体験開催（7/22）、7月利用者数696人 ③夜間結婚相談会(7/20)	
	8月	①今年度の実施要綱の策定、対象者への通知、広報。 ②子ども子育て支援拠点施設事業開始。 ③町結婚相談委員情報交換会 芳賀地区結婚相談委員情報交換会 夜間結婚相談会 ④子育て支援ガイドブックの配布		②8月利用者数 1,323人 ③郡内結婚相談員情報交換会(7/22)、夜間結婚相談会(7/17)	
	9月			①応援手当対象者抽出・申請書発送準備(9/1～9/27)、申請書発送：対象世帯1,956世帯、対象児童数3,411人（9/28） ②9月利用者数1,223人 ③夜間結婚相談会(9/14)	
	10月			①10月1日から子育て応援手当支給開始(1,378件、2,466人) ②10月利用者数 910人 ③夜間結婚相談会(10/19)	
	11月	①子育て応援手当支給開始 ②施設改修着工 ③婚活イベントの開催、夜間結婚相談会 ④子育て支援ガイドブックの配布		①子育て応援手当支給(242件、424人) ②11月利用者数 872人 ③夜間結婚相談会(11/16)	
	12月			①子育て応援手当支給(123件、210人) ②12月利用者数 804人 ③夜間結婚相談会(12/21)、2/14実施町婚活事業を町社会福祉協議会に委託（12/6）	
	1月			①子育て応援手当支給（115件、183人） ②1月利用者数 614人 ③夜間結婚相談会（1/18）	
	2月	①前年度の反省、今年度の実施方法の検討 ②施設開設に向けての情報収集と事業内容の検討 ③町結婚相談委員情報交換会 ④子育て支援ガイドブックの配布		①2/28子育て応援手当支給申請締切（3件、3人）、年間計（1,861件、3,286人）、支給率96.3% ②2月利用者数 696人 ③夜間結婚相談会（2/15）、婚活イベントの開催(2/24)	
	3月			②3月利用者数 980人、年間利用者（8,118人） 子ども子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査で、ましココロの認知度は81.6%、利用したことがある方は34.0%、今後（今後も）利用したいと答えた方は55.5% ③結婚相談員情報交換会、夜間結婚相談会（3/18）	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①対象者全員に手当が支給されるような対策を練る必要がある。 ②施設は利用可能な状態になったが、今後子育て支援事業を行っていく中で発見 ③益子町結婚相談連絡協議会が発足した。新たに社会福祉協議会と商工会も構成員となっていただいたため、情報連携と事業への協力をしやすい環境をつくる。</p>	<p>①30年度の実施要綱の検討 ②備品や子育て支援事業などのソフトの検証・検討を実践の中から見つけていく ③町単の婚活イベントについての情報を構成員が共有し協力をしていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①住民データ集計から対象者の抽出、申請書の作成のためのデータの並び替え、発送まで全て手作業であり労力がかかるうえ間違えが起きても不思議でない状況。実際に、同じ人でも世帯番号で検索すると抽出されるが、フリガナで検索すると抽出されない現象も出ている。アンケートの利用状況の部分は前年と同じ質問とするが、感想・意見の部分は前年と違ったものとし、次回の検討材料とする。 ②利用者数が、当初の予想を大きく超えた。今後も維持できるようにする。 ③夜間結婚相談会への参加者が「0」続き。</p>	<p>①トラブルなく支給できるよう対象者の前で支給枚数等の確認を行う。 最初の1週間は申請件数が多くなることが見込まれるため、職員を1人増員して対応する。(ましこココハウスの非番の職員で対応) ②利用者数維持のため、事業内容の企画・検証を続けて行くことが必要。 ③結婚相談会については「役場」が行っているから来ないのか、周知が足りないから来ないのか、町の今までの事業の結果だけでなく他町の状況も確認し、検討することが必要。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①支給率(人数ベース)は前年度の同時期(12月末)と比較してほぼ同等の90.89%(前年度90.09%) ②利用者は計画時の目標(年間4,500人)より遥に多いものの、第2四半期より利用者数が減少している。第2四半期はオープン後間もないためと考えられる。 ③夜間結婚相談会については、開始当初から利用者が少ない。</p>	<p>①支給率が前年同時期とほぼ同じであるため、前年同様支給期間を延長するか検討。 ②1月でオープン後半年となる。利用者向けの企画だけでなく事業全体についても反省と検討を行う。 ③夜間結婚相談会の必要性の検討</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①前年より支給率はわずかながら向上。前年度95.4% ②子ども子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査に、ましこココハウスに関する設問を入れたことで周知につながった。利用したいと思う方を増やすことが課題。 ③婚活イベントは、町が直接行っていた時に比べ、参加者がすぐに定員に達している。</p>	<p>①申請時期を児童手当の現況届とあわせることで町民の利便性を図れるよう検討したい。 ②ファミリーサポートセンターの窓口機能について検討する。 ③夜間結婚相談会を縮小する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	②ましココハウスの事業につきましては多世代交流も含め、試行錯誤しながら、より良い企画を練って行きます。
	第2四半期	②意見・提言 ましココハウスについて、より良い企画を検討され多世代交流が推進されることを期待する。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	②例えば敬老の日になんで9月などに高齢者との交流会を計画したい。 結婚相談では、夜間結婚相談会の周知、相談員の紹介のほか、県のとちぎ結婚支援センターも積極的に活用したい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 「ましココハウス」について、高齢者サロンなど幅広い年齢層での活用をしてはどうか。高齢者との交流会などの機会はあるのか。 夜間結婚相談会は縮小とのことだが、PDCAサイクルにおけるプランの見直しがなされていないと思われるため、見直しを検討していただきたい。	

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	35箇所	現状値	36箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①②環境森林担当課長会議出席 ①②森林山村多面的機能発揮対策事業説明会出席 ①②益子花の会総会出席		
	5月	①②里山林整備に向けた整備箇所の把握 ①②整備箇所等の地元合意形成状況の把握 ④前沢町有林整備の検討	①②森林行政担当者会議出席 ①②西山里山の会下刈り作業参加 ①②益子花の会下刈り作業参加 ①②林地開発防災パトロール参加 ④あじさい苗植栽（前沢町有林）		
	6月		①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金交付申請 ①②あじさい会下刈り作業参加 ①②ましこの森下刈り作業参加 ①②とちぎ森林管理推進協議会出席		
	7月		①②業務委託設計書作成（町有林）34.3ha		
	8月	①②整備箇所に係る設計書の作成 ①②整備箇所に係る協定書の締結 ④前沢町有林の遊歩道の延長等の検討	①②入札の実施（町有林）34.3ha		
	9月		①②業務委託契約の締結（町有林）34.3ha		
	10月		①②整備箇所の詳細調整 2箇所（大平地区・あじさい公園地区）5.9ha		
	11月	①②整備箇所の入札の実施及び業務委託の締結 ①②活動組織へ交付金の配付 ④前沢町有林の遊歩道の延長等の検討	①②整備箇所の現地確認 1箇所（大平地区）4.9ha		
	12月		①②協定書の締結（大平地区）4.9ha ①②設計書の作成（大平地区）4.9ha ①②業務委託に係る確認検査（町有林）34.3ha		
	1月		①②業務委託契約の締結（大平地区）4.9ha		
	2月	①②業務委託に係る確認検査等 ①②交付金の確認検査及び県へ交付申請	①②協定書の締結（栗生地区③）3.9ha ①②設計書の作成（栗生地区③）3.9ha		
	3月		①②業務委託契約の締結（栗生地区③）3.9ha ①②業務委託に係る確認検査（大平地区、栗生地区③） ①②協定書の締結（あじさい公園）1.0ha ①②活動組織へ交付金の支払手続き 県東環境森林事務所への事業完了報告		

	<p>③担当課の点検・検証                  ( ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 )</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①② 平成30年度においては里山林の整備分21.0ha整備し、交付金の支払いによる地元管理分139.0haを予定している。新規整備については、地権者、整備団体、町による協定の締結を要するため、スムーズに締結できるよう支援していく必要がある。また地元管理が1年目の活動組織については交付金の管理や活動内容などの面できめ細かな支援することが不可欠である。</p>	<p>①② 里山林整備事業にあたっては町有林内の桜の間伐作業も含め、効率的に事業を進めていくことが重要である。現地の状況を的確に把握して業務委託をすすめていく。また、整備が完了し地元管理となった箇所については下草刈など良好な管理がされているかなどを確認し、不備な箇所があれば地元管理団体に対して助言等をし支援していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①② 平成30年度の整備地区である栗生、大平、あじさい公園地区について、整備箇所を地元関係者と調整を行っている状況である。地権者及び地元住民との連携を密にして事業を進めて行くことが重要である。                  ③町内河川の清掃活動については開催箇所及び日時の検討をしつつ地元の意識を高めていくためにも今後も支援が必要である。</p>	<p>①②④ 里山林整備事業にあたって平成31年度新たな整備に向けて、新規活動組織の発掘をすることが必要である。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法について認識してもらうことが必要である。町有林整備については遊歩道延長についても検討していく。                  ③百目鬼川等河川の清掃活動については今後も推進支援していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①② 大平地区の整備面積4.9haの協定を締結。業務委託の準備を進めているところである。事業完了後も地権者及び地元住民との連携を密にして管理事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④あじさい公園、栗生地区の業務委託を早期に締結し作業開始する。里山林整備事業全般については平成31年度、新規活動希望組織に対して地元の合意形成ができるよう住民に対しての説明が必要になる。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法について認識してもらうことが必要である。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②大平地区、栗生地区との業務委託を締結。他地区同様、業務委託完了後も地権者及び地元住民との連携を密にして管理事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④ 里山林整備事業にあたって平成31年度の新規活動希望組織(大平地区)に対して地元の合意形成ができるよう住民に対しての説明が必要になる。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法について認識してもらうことが必要である。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	里山林整備事業にあたっては、活動組織の合意形成が必要となるので適切な説明をして次半期も事業の進捗を図っていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	里山林整備事業にあたっては、活動組織の合意形成が必要となるので次年度についても各組織に適切な説明をして事業の進捗を図る。また次年度は新たに森林環境譲与税事業が開始されるので併せて有効活用を図っていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課			
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生			
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%			
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	35箇所	現状値	36箇所	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月			③前年度事業内容の確認検査の実施。		
	5月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言。				
	6月			③6/14益子町土地改良区拡大委員会にて事業説明（新規募集） ③6/27県協議会主催研修会の参加		
	7月			③7/1自治会回覧にて未実施地区へのパンフレット配布		
	8月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言。				
	9月					
	10月			③各組織と中間確認検査を実施		
	11月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言。				
	12月					
	1月					
	2月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言。			③2/12視察研修会の開催、県主催研修会の参加 ③道の駅、中央公民館にてPR活動	
	3月					

	<p>③担当課の点検・検証                      ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                      以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>③平成29年度の確認検査を実施したが、19組織とも適正に執行されていた。</p>	<p>③引き続き19組織及び新規1組織が適正に活動するよう指導する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>③未実施地区へのパンフレットを配布し、周知を行った。</p>	<p>③引き続き20組織が適正に活動するよう指導する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>③平成30年度上半期の確認検査を実施したが、20組織とも適正に執行されていた。</p>	<p>③引き続き20組織が適正に活動するよう指導する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>③平成30年度上半期の確認検査を実施したが、20組織とも適正に執行されていた。</p>	<p>③引き続き20組織が適正に活動するよう指導する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	実施計画のとおり事業を継続する。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	実施計画のとおり事業を継続する。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	90%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	35箇所	現状値	36箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	⑤花のまちづくり事業 小宅古墳群 桜・菜の花祭り 4月 マリーゴールド播種・育苗作業 10,000株 4月中旬～ ひまわり祭り・コスモス祭りの準備 4月下旬～ ひまわり祭り臨時駐車場（つくば益子バイパス）借用届け（真岡 土木事務所）4月下旬	小宅古墳群来場者 5,625名 小宅古墳群準備作業4/1 トイレ4基 テント4張 机20 机50脚 案内 看板50枚 その他看板30枚 テント50枚 ホスター30枚 小宅古墳群 HP 3日に1度更新 DCキャンペーン イベント11名4/8 マリーゴールド仮植作業11,000株 4/11		
	5月	小宅古墳群看板撤去 50枚 5月 町民へのひまわり種の配布5月（役場 中央公民館 改善 あぐり） ひまわり祭り農地転用許可申請 5月 第1回ひまわりサミット会議 5月 コスモス祭り実行委員会の開催 5月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月 大規模ひまわり畑 播種作業 6月 ひまわり苗の間引き作業 6月 小宅古墳群テント撤去 6月	ひまわり祭り臨時駐車場（つくば益子バイパス）借用届け（真岡土 木事務所）4/25 小宅古墳群看板撤去 50枚 4/27 小宅古墳群仮設トイレ撤去 5/31 町民へのひまわり種配布5/2（役場 中央公民館 改善 あぐり） 第1回ひまわりサミット担当者会議 5/10		
	6月		第1回コスモス祭り実行委員会 6/2 第1回ひまわり祭り実行委員会 6/16 ひまわり祭り臨時駐車場の確保を検討。 ひまわり播種作業6/16～6/18		
	7月	⑤花のまちづくり事業 ひまわり間引き作業 7月 コスモス祭り農地転用許可申請 7月 ひまわり祭り道路占用許可申請7月（真岡土木事務所） ひまわり祭り職員割当業務各課依頼 7月 ひまわり祭りオープニングイベント打合せ（出演者） 露天開設届け（消防）7月 臨時出店届け（保健所）7月 会場設営打合せ（石塚土建・下野アド）7月 野木町ひまわりフェスティバル7/27（金） ひまわり祭り準備作業 ひまわり祭りの実施（8/11～8/19） 上三川町ひまわり祭り8/24（金） コスモス祭り町職員協力依頼9月 コスモス祭り実行委員会開催9月 コスモス祭り会場平面図作成9月	ひまわり間引き作業 7/11 職員12名 5ha 野木町ひまわりオープニング 7/27 職員3名		
	8月		コスモス播種作業 8/2～5 10ha ひまわり祭り 8/11～19（9日間）来場者59,717名 上三川町ひまわり祭り参加 8/24		
	9月		9/6 ビオラ播種作業 11,000株 9/22 コスモス祭り実行委員会 生田目公民館 職員2名出席 9/28 コスモス会場 展望台 乗入出口敷鉄板設置		
	10月	⑤花のまちづくり事業 コスモス祭り道路占用許可申請9月（真岡土木事務所） コスモス祭りオープニングイベント打合せ（出演者） 露天開設届け（消防）9月 臨時出店届け（保健所）9月 会場設営打合せ（石塚土建・下野アド）9月 コスモス祭り準備作業10月 コスモス祭りの実施（10/6～21） コスモス祭り夜祭り 10月14日 ビオラ苗配布・植栽業務	10/2 コスモス祭り看板設置 10/3 コスモス祭りビックテント 仮設トイレ設置 10/6 コスモス祭りオープニング 10/9 コスモス祭り厚木市視察 受入 27名 10/14 コスモス夜祭 863名 コスモスマつり10/6～21 来場者数 20,961名		
	11月		11/2 コスモス祭り実行委員会 生田目公民館 15名 （実行委員の入れ替えもあるが、来年度も実施することで決定す る。） 11月中旬 ビオラの苗を公共施設・幼保・学校へ配布する。約 9,500株		
	12月				
	1月		1/8 第2回ひまわりサミット担当者会議		
	2月	⑤花のまちづくり事業 第2回ひまわりサミット担当者会議 マリーゴールド播種作業3月 実行委員会の開催 3月 小宅古墳群 桜・菜の花祭りの準備 3月			
	3月		3/18 マリーゴールド播種作業 3/22 菜の花・桜祭り会場周辺看板設置 3/26 花のまちづくり実行委員会 菜の花・桜祭り会場準備 3/27 菜の花・桜祭り町内看板設置		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>ひまわり祭りは今年度もお盆期間中をはさみ、8/11から9日間開催する。多くの来場者が見込まれることから、雨天時でも使用できる臨時駐車場の確保が課題。</p>	<p>近隣のアスファルト駐車場やつくば益子バイパス県有地駐車場、道の駅臨時駐車場、南部運動場の確保を目指す。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>ひまわり祭りは事故もなく過去最高の入場者を数えた。その理由は                      ①お盆を挟んだ期間であったこと                      ②天気恵まれたこと                      ③咲き咲えと開花のタイミング良かったこと                      ④目線の高さで開花させたこと（ハイブリットサンフラワー）                      ⑤バイパス県有地、道の駅臨時駐車場、農協跡地を活用できたこと                      ⑥道の駅と連携が図れたこと（観光バス駐車場）                      ⑦交通案内を極力看板で対応し、浮いたスタッフを駐車場内に配置したこと                      ⑧ブランコ、ミニ展望台、脚立を活用し撮影スポットがSNSで話題になったこと                      ⑨摘み取り無料のエリアを設定したこと                      が考えられる。                      課題：摘み取りに使用するはさみについて、当初、無料貸出していたが、返却されない事があり、途中で貸出を中止した。しかしながら、摘み取りや、はさみ貸出の要望が多かったことから、誰がどのような体制で貸し出すかが課題である。</p>	<p>はさみの貸出について、地元実行委員会と協議する必要がある。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>コスモス祭りの検証について                      台風の被災をうけ、ほとんどのコスモスが倒れたが、その後倒れた先から茎が垂直に成長し、何とか開花させることができた。                      来場者数も2万人を数え、会場内物販販売額もプラスとなる結果となった。来場者の多くはリピーターであるが、その他マスコミや立て看板で気づき、会場まで足を運んだかたも多い。</p>	<p>アナログな対策ではあるが、今回は立て看板の数を、増加したいと考えている。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>・小宅 桜菜の花まつり                      3月下旬に開花が進み、また写真撮影用の額縁・ブランコを設置した。若者の来客者の多くは写真撮影が目的で花畑に来ている。                      菜の花・桜だけでなく、ひまわり・コスモスについても、撮影スポットがあること、及び開花状況の周知を見直すことで、より多くの来客者が見込める。</p>	<p>町公式のHPで開花状況を更新しているが、加えてインスタグラム等で周知していこうと考えている。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	気候により、播種の時期は前後するが、計画に沿ったスケジュールで花のまちづくりを進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	小宅古墳群昨年よりも倍の来場者数になり今後も来場者に満足していただけるよう努力していく。また、ヒマワリ祭り、コスモス祭り、桜・菜の花祭りも、気候により、播種の時期は前後するが、計画に沿ったスケジュールで花のまちづくりを進めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 小宅古墳群の整備に伴い、ますます来場者が増えていくことと思う。また、ヒマワリ祭り、コスモス祭り、桜・菜の花祭りも、益子の観光スポットとして定着してきているので、引き続き年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	

		課局名	環境課			
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生			
施策	自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発	進捗状況	100%			
KPI	エネルギー自給率	本年度目標値	20.0%	現状値	31.03%	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月			③町HP等で掲載済 ③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定		
	5月			③広報ましこ・おしらせ版で掲載済 ③住宅用太陽光発電システム補助金2件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付確定 ③町HPにて町有施設屋根貸しによる太陽光発電事業者募集（5/21～6/8）		
	6月			③住宅用太陽光発電システム補助金2件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定及び確定		
	7月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金2件の交付決定		
	8月			③住宅用太陽光発電システム補助金3件の交付決定		
	9月			③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定		
	10月	③補助金の交付決定、確定及び支払い ②再生可能エネルギー普及に向けての情報等の収集検討 ①産学官の連携のための情報収集		③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付確定		
	11月			③住宅用太陽光発電システム補助金2件の交付決定 ③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定		
	12月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付確定		
	1月			②太陽光発電システム補助金について、見直しを検討した。		
	2月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付確定		
	3月			③住宅用太陽光発電システム補助金8件の交付確定		

	<p>③担当課の点検・検証                  ( ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 )</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③太陽光発電システム、太陽熱利用システム、木質バイオマスストーブ補助金要綱の制定後、町HP、広報ましこ、お知らせ版、移住・交流推進機構のHPなどでPRしてきたが、太陽光発電システム、木質バイオマスストーブについては申請があったが、太陽熱利用システムについては若干の問い合わせがあるが申請まではいたっていない。今後広報ましこをはじめPRの機会がある度に、広く町民へ浸透させていく必要がある。                  ③太陽光発電の出力増加分(kw)実績                  平成26年度                  一般住宅分335kw                  平成27年度                  一般住宅分153KW                  平成28年度                  一般住宅分128KW                  平成29年度                  一般住宅分81KW</p>	<p>③太陽光発電システムについては従来から実施してきた補助制度であり、町民に相当浸透していると思われるが、太陽熱利用システム、木質バイオマスストーブについては、まだ補助制度の周知が十分でないと思われるので、広報ましこ・パンフレット等での更なるPRや、イベントや会議等でPRをして町民に対して広く浸透を図る。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③平成30年9月末時点で太陽光発電システム9件、木質バイオマスストーブ5件の補助金の交付決定をしているが、太陽熱利用システム0件である。木質バイオマスストーブについては前年度実績を上回ったが、太陽光発電システムについては、前年度並みに近い申請状況、太陽熱利用システムについては、近隣市町に補助制度が無くシステムの機能や制度がまだ十分に浸透していないのではないかと思われる。</p>	<p>③太陽熱利用システム、木質バイオマスストーブについては、広報ましこ等を活用してさらなるPRをし町民に対して広く浸透を図っていく。                  ①②再生可能エネルギー普及についての県内市町の状況及び産学官連携先進事例の情報収集についても引き続き進めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③平成30年12月末時点で太陽光発電システム11件、木質バイオマスストーブ5件で、太陽光発電システムについては、前年度より減少傾向にあるが、木質バイオマスストーブは前年度並みの申請状況である。太陽熱利用システムについては、システム設置した場合の機能や補助金制度が浸透していないものと思われる。</p>	<p>③太陽光発電システム、木質バイオマスストーブについては、参加団体の協力を頂き町民祭で展示PRをしたが、今後もPR方法を検討をして町民に対して広く浸透を図る。                  ②ペレット関連の情報集も努めていきたい</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③30年度末で太陽光発電システム11件、太陽熱利用システム0件、木質バイオマスストーブ5件で、太陽光発電システムについては、前年度比約7割であった。太陽熱利用システム及び木質バイオマスストーブについては、設置した場合の機能や補助金制度が十分に浸透していないものと思われる。</p>	<p>③太陽熱利用システムについては、29・30年度ともに申請がないので制度の見直しを検討する。                  ③太陽光発電システムは、県内市町の状況を鑑み補助額の見直しを行う。また、電力会社の買取価格の低減等が発表されていることから、新たに定置型蓄電池の補助を開始する。                  ②再生可能エネルギーについての近隣市町村との情報交換も引き続き進めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	メガソーラー設置については県の指導指針に沿った対応をしていくが、県内各市町の動向もみながら町としても対応検討をしていきたい。太陽熱利用システム、木質バイオマスストーブについては広報、イベント、会議等でPRを図っていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 計画の一部改定の提案があり、より住民の生活に沿ったものとなったと思われる。	メガソーラー設置については県の指導指針に沿った対応をしていく。太陽熱利用システムについては需要が見込めないため、太陽光発電システム設置住宅の蓄電池設置補助に切り替える。木質バイオマスストーブについては広報、イベント、会議等でPRを図る。自然エネルギー活用については近隣市町連携や更なる情報収集を進めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる		政策	住みよい持続可能なましこの創生	
施策	ごみの資源化・減量化の推進		進捗状況	100%	
KPI	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量	本年度目標値	300g	現状値	411g
KPI	ごみの分別リサイクル率	本年度目標値	42.0%	現状値	29.4%
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）			②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		①前年度第四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：167t、交付件数：64件、交付金額：1,213,780円 新規1件 品目追加2件 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 23t（全31t） 小型家電回収量 1.7t 廃食用油回収量：0.18t エコ土曜日（資源物回収）：1.5t HPでのPR ③不法投棄防止看板 1本設置（大郷戸）		
	5月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系22t（全32t） 廃食用油回収量：0.12t エコ土曜日（資源物回収）：1.5t 生ごみ専用袋のPR、生ごみ処理機の体験談のQRコードを「ましこのね」に掲載 ③不法投棄防止看板 2本設置（大津沢・北郷谷）		
	6月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系22t（全31t） 廃食用油回収量：0.2t 小型家電回収：1.3t エコ土曜日（資源物回収）：1t ③不法投棄防止看板 1本設置（大平）		
	7月		①第一四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：199t、交付件数：67件、 交付金額：1,446,890円 品目追加1件（仲の内） ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 26t（全34t） 小型家電回収 廃食用油回収量：0.2t エコ土曜日（資源物回収）：1.8t エコ土曜日PR 4コマ漫画作成、生ごみ処理機口コミのホームページ・フェイスブック掲載		
	8月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系28t（全36t） 小型家電回収量：1.1t 廃食用油回収量：0.12t エコ土曜日（資源物回収）：1.5t 生ごみ堆肥化工場見学会の実施 エコ土曜日PRちらしの配布（全小学校） ③不法投棄防止の看板設置（新町・東田井）		
	9月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系21t（全28t） 小型家電回収なし 廃食用油回収量：0.18t エコ土曜日（資源物回収）：1t		
	10月		①第3四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：174t、交付件数：64件、交付金額：1,262,240円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系24t（全33t） 廃食用油回収量：0.12t エコ土曜日（資源物回収）：1.1t 中部・北部地区ぐるみ体育祭でエコ土曜日のPRティッシュ・ちらし配布 計600個 ③環境美化運動支援（東田井地区）		
	11月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系26t（全34t） 小型家電回収量：30t 廃食用油回収量：0.14t エコ土曜日（資源物回収）：1.4t 町民祭でエコ土曜日のPRティッシュ・ちらし配布（400個） 各ゴミステーションでの生ごみ排出量調査		
	12月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系24t（全32t） 廃食用油回収量：0.2t エコ土曜日（資源物回収）：1.8t トイボックスでエコ土曜日PRティッシュ・ちらし配布（150個） ③環境美化運動支援（全地区）		
	1月		①第3四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：184t、交付件数：68件、交付金額：1,337,080円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系22t（全31t） 廃食用油回収量：0.14t エコ土曜日（資源物回収）：1.6t 小型家電回収量 1.9t		
	2月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系18t（全26t） 廃食用油回収量：0.14t エコ土曜日（資源物回収）：0.8t		
	3月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系20t（全29t） 廃食用油回収量：0.2t 小型家電回収量 1.5t エコ土曜日（資源物回収）：2.3t		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①資源物回収は、H29年度において741tを超え、町の資源化量の50%を占める有効な手段である。事業の個別勧奨をしたところ、今年度から新規の団体が1ヶ所、品目の追加実施団体が2ヶ所あった。今後も自治会や育成会にとって、資源物回収がいかに関与があるか情報を与えて、取り組みやすい環境を作っていくことが重要である。</p> <p>②生ごみの家庭系は、減少傾向にある。昨年度のアンケートで使用しない理由として、袋の強度が弱いなど袋に関する不満が多かったが、一方で環境に関心のある住民が使用していることに注目しPRの方法を違った切り口から進めていきたい。また生ごみ専用袋のPRと合わせて生ごみ処理機のPRも実施していきたい。エコ土曜日についても、広報等で周知を図っているがまだ全体的にPR不足と思われるため別の周知方法を考える必要がある。</p>	<p>①事業を実施した団体がどれだけ収入があったかを具体的にフェイスブックや広報で周知を図るとともに、自治会や育成会に粘り強い個別勧奨も行い事業実施の後押しを積極的にしていきたい。</p> <p>②生分解性の袋の強度については共和化工(株)に改善を依頼した。また環境に関心のある住民ほど、生分解性の袋を使用している傾向があることに注目し、実際生分解性の袋を使用している住民の「環境に対する意識の高さ」をクローズアップしたものをHPで紹介することにより、エコ意識の高い住民をターゲットに生分解性の袋のPRにつなげていきたい。また生ごみ専用袋の使用方法をわかりやすく説明したものを動画で配信することにより、住民の関心を高めていきたい。また生ごみ処理機についても、使用者の体験談を掲載するなど、より住民の立場に立ったPRを掲載していきたい。エコ土曜日については、広く住民が集まるイベントなどを活用し効率よく周知していきたい。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①自治会の資源物回収は回収品目を追加した自治会もあり勧奨の成果が表れている。</p> <p>②生ごみについては、小学生対象に生ごみ堆肥化見学会を実施した。これは子供たちへの環境教育はもちろんのこと保護者へのPRにもなる。エコ土曜日は、小学校へのちらし配布で周知を図った。学校経由での配布は効率的なPRに有効な手段である。生ごみの自家処理促進を目的とした生ごみ処理機口コミをフェイスブック、ホームページに掲載した。体験談と画像を掲載することで自家処理をより身近に感じてもらえることができる。ウェブの活用はわかりやすく、興味や関心を引くために有効であるため活用していきたい。</p> <p>③新町・東田井地区では悪質な不法投棄が頻発し、自治会長や班長と相談しながら独自の看板を作成し効果が見られた。</p>	<p>①引き続き自治会長・育成会長への個別勧奨を進めていきたい</p> <p>②生ごみの自家処理の推進については、引き続き取材を進めフェイスブックやHPでPRするとともに、住民が最も接触しやすい「広報ましこ」にも掲載し、ホームページ・フェイスブック閲覧への誘導を積極的に行っていききたい。エコ土曜日については、PR用4コマ漫画を活用しながら住民の多く集まるイベントで積極的にPRしたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②町民が多く集まるさまざまなイベントでエコ土曜日のPRティッシュ、ちらしを配布した。1人1人説明をして回ったが、エコ土曜日について初めて聞いたという人が想像以上に多く、広報やHP以外の口頭で伝えるPRの必要性を実感した。</p> <p>以前からホームページに生ごみ処理機の口コミ、専用袋の使い方を掲載しているが、10月の広報からホームページに誘導するQRコード付の記事を掲載したところ、ホームページのアクセス数が増えており、環境課への問い合わせも増えた。このまま継続していきたい。</p> <p>各ゴミステーションに排出される生ごみ専用袋の数を調査した。住宅密集地が多いという予想とは反して、山本や芦沼地区でも多く排出されるところがあった。また全体的に0~3個と極端に少ないステーションも多く見られ、生ごみ堆肥化事業の事業内容について慎重に検討する必要がある。</p>	<p>②ゴミの減量のため、町民にとってわかりやすく実行に繋がるPRを実施したい。</p> <p>今後は、HP、広報の他、ティッシュ・チラシ配りなどの直接的なPRを継続して行うほか、女性団体の集まる会議などでPRしていきたい。</p> <p>機械式の生ごみ処理機は、使用した方からは高評価な反面、高価なため購入に躊躇する人が多いため、購入決断への後押しができるような自宅で体験できる貸出事業を検討したい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①資源物回収量は前年度と比較し、第1四半期、第2四半期の実績は下回っていたが第3四半期については前年度とほぼ同量となっている。資源物回収がゴミ減量や財政負担の軽減につながることを住民に周知して、資源物回収量を維持していきたい。</p> <p>②生ごみ処理量は前年度と比較して年間24t減少している。地道なPRを継続しつつ事業所にも積極的に推進していきたい。エコ土曜日、小型廃家電の回収についてはPRの効果が現れ、秋以降の回収量が昨年同時期と比較して大幅に増加している。</p>	<p>①②平成30年度は、住民への直接的なPRが有効であることが実証できた。次年度もPRを積極的に取り組みたい。ウェブや紙媒体では、なぜゴミ減量が必要なのか、住民の心に届くようなわかりやすいPR制作物を作りたい。また今年度と同様に住民が集うイベントを利用し直接的なPRに積極的に実施したい。</p> <p>エコステーションへ搬入されるゴミの分析から、ゴミ増加の原因を探ることも必要である。エコステーションと連携を取りながら実施していきたい。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	新たな環境対策については、コスト面や効果を総合的に判断し財政や住民に負担のない対策であれば検討していきたい。今後の方針としては、現在実施している事業の周知を徹底していきたい。
	第2四半期	②意見・提言 外国でプラスチックストローを使用しなくなったという事例があるが、何か町独自の環境対策等をPRするのはいかがか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	町ホームページで生ごみ処理優良事例等を周知しごみ減量化に努めていく。その他の事業についても、住民の意見を参考に更なるごみ減量化に努めていく。ごみ処理事業のコスト面もさらに検討していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 生ごみ処理量が減少しているため、生ごみ処理でできたたい肥について、当初は各戸に配布された経緯があるので、イベント等で数量限定で配布するなどし再認識を図ってはどうか。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通した健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康指標全国順位	本年度目標値	5位	現状値	35位 (H24)
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	25.0%	現状値	21.1% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①【健幸ポイント】9名 【健幸サポーター】2名 ②「健康デー」体組成計測定 (4/17) 40名実施。 うち初回利用は8名。 運動指導士による集団健康教育、実技、個別指導を実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。 健康ウォークコースの下見、実施準備。		
	5月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。5/29ましこ健康ウォーク開催。	①【健幸ポイント】12名 【健幸サポーター】2名 健康ウォーク募集チラシ送付。 ②「健康デー」体組成計測定 (5/15) 47名実施。 うち初回利用は12名。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。 5/29:健康ウォークを大平安善寺、芳賀富士にて実施。参加者28名。		
	6月		①【健幸ポイント】19名 【健幸サポーター】4名 体育館主催体力測定会場で入会勧奨 (入会者4名、サポーター2名) ②「健康デー」体組成計測定 (6/19) 37名実施。 うち初回利用は4名。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。 秋期実施予定の健康ウォークコースの下見を実施 (大羽地区)。		
	7月		①【健幸ポイント】28名 結果説明会会場等で勧奨 ②「健康デー」体組成計測定 (7/17) 42名実施。 うち初回利用は8名。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	8月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。	①【健幸ポイント】12名 ②「健康デー」体組成計測定 (8/21) 47名実施。 うち初回利用は6名。 運動指導士による集団健康教育、実技、個別指導を実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	9月		①【健幸ポイント】12名 ②「健康デー」体組成計測定 (9/18) 45名実施。 うち初回利用は6名。 ましこ健康ウォーク第2回(11月実施)に向けて、募集広報等を準備 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	10月		①「健幸ポイント」11名 ②「健康デー」体組成計測定 (10/16) 45名実施。 うち新規利用は9名。 栄養士による集団栄養教育、試食配布、個別指導の実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	11月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。 11/13ましこ健康ウォーク実施予定。(大羽方面予定) 11/17健康まつり開催。	①「健幸ポイント」29名 結果説明会・健康まつり会場にて入会勧奨。 ②「健康デー」体組成計測定 (11/20) 41名実施。 うち新規利用は4名。 ③⑤健康デー及び健康まつり会場においてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。 11/13 ましこ健康ウォーキング (上大羽方面) 実施。参加者30名。		
	12月		①「健幸ポイント」22名 ②「健康デー」体組成計測定 (12/18) 45名実施。 うち新規利用は4名。 運動指導士による集団健康教育、実技、個別指導を実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	1月		①「健幸ポイント」20名 ②「健康デー」体組成計測定 (1/15) 38名実施。 うち新規利用は6名。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	2月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。	①「健幸ポイント」14名 ②「健康デー」体組成計測定 (2/19) 57名実施。 うち新規利用は5名。 栄養士及び食生活改善推進員による集団栄養教育、試食配布、個別指導を実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	3月		①「健幸ポイント」5名 ②「健康デー」体組成計測定 (3/25) 50名実施。 うち新規利用は6名。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①第1四半期で計40名の新規参加者があり、計426名の参加者となった。今後、健診受診後の参加者も見込まれる。                  ②毎回多くの利用者があるが、新規者も毎回10人以上と順調に新規層も確保できてきた。待ち時間を有効にするため、栄養編・運動編と集団教育を導入し、内容の充実化が図れた。運動実技や個別指導は好評で、運動の推進が図れた。                  ③⑤従来の歩け歩け大会に替わる「ましこ健康ウォーク」では、運動指導士の講習や観光ボランティアの案内等が好評で、実施場所を初めて訪れる方も多く、終了後のアンケートも益子の風土や魅力を感じたと概ね好評であった。</p>	<p>①健診終了後の参加者を見込み、事業のPRに努める。今後は、ポイントの交換や参加後にポイントの付与がされていない方への案内も検討し、地域通貨への交換も併せて促して行く。また、既存の事業へのポイント付与の要望も出ていることから、事業の洗い出しを含め、ポイントの内容を検討してゆく。                  ②新規利用者のさらなる拡大をめざし、PR強化に努める。結果説明会で周知を図ることを検討する。                  ③⑤今回の健康ウォークの内容を踏まえ、次回(11月に予定)は関連のある大羽地区での実施を予定している。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①健幸ポイント加入者数は計483名であり、加入者のポイント申請は、健診ポイントやウォーキングポイントの定期的な申請などで習慣化されている傾向が窺える。                  ②体組成計測定では毎月50名近い利用がある。そのうち新規利用者は毎回1～2割を占め、順調に新規者が得られている。また利用年齢も30歳代から幅広く、若年層の健康づくり推進へのきっかけになっている。検査数値推移の見える化は運動への意欲向上も期待され、引き続き内容の充実を図り推進したい。</p>	<p>①ポイント交換の勧奨等も含め、引き続きPRに努める。                  ②事業周知に、お知らせ版掲載や結果説明会で個別にチラシを配布していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①健幸ポイント参加者延べ数545名、ポイント交換者80名(63,000ポイント分)となり、徐々に健康行動への動機付けとなっていることが窺える。                  ②体組成計測定では毎回50名近い利用がある。さらなる健康づくり推進を図るため、体組成結果を生活習慣や運動習慣と連動させた事業内容や指導方法について充実を図り展開したい。                  ③⑤ましこ健康ウォークでの参加者の評価は概ね良好であり、感想の中でも地元の魅力の再認識となったことが多く寄せられていた。その一方で、参加者の多くが運動習慣者であり、健康づくりの動機付けという当初の目的には疑問が残った。</p>	<p>①引き続き参加勧奨を実施してゆく。                  ②事業内容等を充実させ、より効果的な展開方法を検討し、引き続き実施する。                  ③⑤ウォーキングコース等の紹介は、引き続き健康デーにおいて実施してゆく。                  ましこ健康ウォークに関しては、類似事業が他部署で実施されていることもあり、検討を要するものと思われる。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①健幸ポイント参加者延べ数584名、徐々に健康行動への動機付けとなっていることが窺えるが、さらに参加が増加するようポイント付加対象事業の検討を行った。                  ②体組成計測定利用者数は維持できている。自身の筋肉量や脂肪量が数値化されていることは、運動習慣への動機づけや習慣づけに効果的であると思われる。                  ③⑤新たな運動習慣者の増加を目指し、「健康デー」での体組成結果をより有効に活用するための方法を検討を行った。</p>	<p>①次年度からポイント付加対象事業として、運動教室への参加や県で実施する健康マイレージ事業へ参加等対象事業を増やし、引き続き参加勧奨を実施してゆく。                  ②「健康デー」事業の周知を広く図るため、チラシの全戸配布を実施する。体組成計測定と同時に、運動や栄養の集団教育は多くの町民の健康増進に寄与されることが期待され、継続実施していく。                  ③⑤運動指導の充実化を図るため、運動指導士による指導回数を増加し実施していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業実施を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	健康ポイント付加事業を追加し、継続して実施していく。 「健康デー」の年間予定表を4月に全戸配布し、今後は、さらなる内容充実や新規利用者の拡大のため、周知を引き続き実施していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 「健康デー」について、体組成計測定者の健康意識の高さを感じるとともに、さらに新規の方を広げていくべき。また、新規参加者からは続けたいというコメントがあったため、広報紙などに写真で掲載するなど、より周知を図っていくべき。	

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康指標全国順位	本年度目標値	5位	現状値	35位 (H24)
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	25.0%	現状値	21.1% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	5月	①健幸ポイント周知	①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	6月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	7月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	8月	①健幸ポイント周知	①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	9月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	10月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	11月	①健幸ポイント周知	①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	12月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	1月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	2月	①健幸ポイント周知	①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	3月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                  以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せ感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康指標全国順位	本年度目標値	5位	現状値	35位 (H24)
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	25.0%	現状値	21.1% (H29)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	④ましこチャレンジクラブ (総合型スポーツクラブ) の参加者を増やすための運営事務及び広報活動等の支援	④新年度における会員申込受付 (継続・新規) の支援を行った。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討 (4/10) 現在加入者389名 ④4月上・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	5月		④新年度における会員申込受付 (継続・新規) の支援を行った。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討 (5/8) 現在加入者452名 ④クラブ総会に参加し、事業報告や計画、予算等について説明を受けクラブ運営について再確認した。(5/19) ④5月上・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	6月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (6/12) 現在加入者490名 ④6月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。		
	7月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (7/12) 現在加入者513名 ④7月上半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。		
	8月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (8/7) 現在加入者522名 ④8月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。		
	9月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (9/11) 現在加入者527名 ④9月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。		
	10月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (10/22) 現在加入者543名。 ④10月下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。		
	11月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (11/13) 現在加入者565名。 ④11月上下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。		
	12月		④クラブ運営委員会にて運営の検討、交流会打合せ (12/11) 現在加入者583名。 ④12月上下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。 ④スポーツ交流会開催 (12/22) に伴う支援。		
	1月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (1/8) 現在加入者586名。 ④1月上下半期お知らせ版にて、会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。		
	2月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (2/2) 現在加入者587名。 ④2月上下半期お知らせ版にて、新年度会員募集及びスポーツダンスのPRについて掲載した。		
	3月		④クラブ運営委員会にて運営の検討 (3/12) 現在加入者587名。 クラブの今後の方向性、来期行事予定について検討 ④3月上下半期お知らせ版にて、新年度会員募集について掲載した。		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。クラブ事務局員が変わったため、運営がスムーズに進むよう事務的な支援は随時行っている。6/12時点で490名の加入であり、前年度の6月（529名）と比べて、ほぼ横ばいの状況である。今後、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。クラブマネージャー（事務局員）が交代になったので、さらに連絡を密にして加入者等のサービス向上に繋がるように進めて行く。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。9/11時点で527名の加入であり、前年度の9月（558名）と比べて、ほぼ横ばいの状況である。今後、新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。</p>	<p>④継続的に町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。12/11時点で583名の加入であり、前年度の12月（609名）と比べて、ほぼ横ばいの状況である。今後も継続して加入者の確保のため、引き続き広報活動が必要である。</p>	<p>④継続的に町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④町広報誌を利用して、チャレンジクラブ会員募集を毎回記載したので、住民の方々が目にする機会が増えたと思われる。しかし、掲載スペースに限りがあるため、入会金紹介が主になってしまい、興味を引くことが出来なかったと思われる。クラブ運営委員会の内容を把握し、随時、クラブ運営がスムーズに進むよう支援を行ってきた。会員数は587名であり、毎月、微少なながらも増加してきた。昨年同期611名と比較して、ほぼ同数である。現在の会員が、来期にも加入するよう周知していきたい。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。Toto助成金が3年後の2022年から打切りになるため、クラブの方向性を検討する必要がある。また、クラブが存続できるよう、町からの支援方法を検討する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き年間計画に基づき、事業を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き年間計画に基づき、事業を進めていく。 健康づくりとして、運動と併せて食の啓発事業や、ToTo助成金打切りの2022年に備えて、今後の方向性、運営方法や町からの支援等について、計画的に進めるよう運営委員会で検討していきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 チャレンジクラブの施策としては、「運動を通じた健康づくりの推進」とあり、26ページ中の健康教室・健康まつり同様、食の啓発事業と一緒に結び付ける企画をしてもよいのではないか。また、ToTo助成金の打ち切りが2022年にあるため、来期は見直しが必要と思われる。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	食事を通した健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	メタボリックシンドローム該当者の割合	本年度目標値	14.5%	現状値	19.2%
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.4%	現状値	11.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月		①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施。その中で、個別栄養相談（3名実施）、保健指導、集団運動指導を実施。健康セミナー「腎臓病予防教室」を実施。第1回4/25（40～69歳）13名。第2回4/27（70～79歳）22名。当初、2回の実施計画であったが、申し込みが多数であったため、第3回を5月に計画。		
	5月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ②健康レシピコンテスト実施にむけて準備。 ④郷土料理教室開催、普及に向けて計画立案。	①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（47名参加）。その中で、個別栄養相談（4名実施）、保健指導を実施。第3回健康セミナー「腎臓病予防教室」を5/8に追加実施。17名受講。実施後、集団指導に加え、各病態に応じた修了者フォローとして個別指導を6月に計画。①男性料理教室を開催。		
	6月		①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（38名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、保健指導、集団栄養教育を実施。健康セミナー「腎臓病予防教室」修了者フォローとして6/4、6/8に個別相談を各3名ずつの6人に対し、病態や生活スタイルに応じた指導実施。今後は健診や相談の場を追跡フォロー予定。①広報ましこに食育に関する記事を掲載。		
	7月		①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（42名参加）。その中で、個別栄養相談（4名実施）、保健指導を実施。②益子町食育推進会議において健康レシピコンテスト素案の検討。		
	8月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ②健康レシピコンテストを開催。 ④郷土料理教室（ビルマ汁）を開催。	①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（47名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導、集団運動指導を実施。②健康レシピコンテストを開催。開催期間は8月1日～11月30日。テーマは、「カムカムランチ」～よく噛む工夫のされたバランスのよいメニュー～④郷土料理教室としてビルマ汁料理教室を開催し、17名参加。		
	9月		①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（45名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、保健指導を実施。②開催中。		
	10月		①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（45名参加）。その中で、個別栄養相談（8名実施）、保健指導、集団栄養教育を実施。②開催中。		
	11月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ②健康レシピコンテストを開催。 ④郷土料理教室を開催。	①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（41名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、保健指導を実施。②開催中。		
	12月		①②③④計画検討及び実施。 ①適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（45名参加）。その中で、個別栄養相談（3名実施）、保健指導、集団運動指導を実施。②応募総数6点。④0～3歳の親子を対象に「お正月の和菓子教室」を開催（9組19名参加）。		
	1月		①②③④について実施。①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（38名参加）。その中で、個別栄養相談（2名実施）、保健指導を実施。②「健康レシピコンテスト」の審査結果と審査員コメントについて応募者に通知。レシピの商品化に向け道の駅と打ち合わせ。		
	2月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ②健康レシピコンテストの審査を実施し、広報等で周知・普及。 ④広報等で郷土料理や行事食に関する情報を発信。	①②③④について実施。①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（57名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、集団栄養教育（講話・健康食配布）、保健指導を実施。②「健康レシピコンテスト」の商品化に向け道の駅と打ち合わせ。④広報ましこに「行事や行事食を楽しもう！」について掲載。		
	3月		①②③④について実施。①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（50名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。地区自治会へ出向き健康教育を実施。②「健康レシピコンテスト」に関する記事を町ホームページに掲載。道の駅ましこレストランにてレシピを商品化（販売）。また、真岡新聞、下野新聞に掲載された。		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①食習慣及び生活習慣の改善により、引き続き生活習慣病・メタボの予防改善に努める。特定保健指導や個別栄養相談の機会を活かし、生活習慣病予防への意識改革や行動変容につながるよう努める。今年度から町民の健康づくりをサポートするために栄養相談日を「健康デー」とし、普及啓発している。具体的な内容として、栄養相談、体組成計測定、健幸ポイント事業、集団栄養教育(年3回)、集団運動指導(年3回)を実施予定。ほか健康増進法改正に伴い、禁煙教育の導入も視野に検討する。②食育推進委員や関係機関と協力し「健康レシピコンテスト」開催へ向けて準備できた。④教室の内容について検討を行った。</p>	<p>①②③④事業内容を充実させ、より効果的な展開方法を検討しつつ、引き続き実施する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①③毎月第3火曜日の「健康デー」が町民にも浸透し始め、毎回継続参加者と新規参加者が混在している状況である。集団指導も好評で、体組成計の待ち時間を有効活用でき、かつ町民の健康づくりの実践につながっていくものと考えている。②食育推進委員や関係機関と連携し、「健康レシピコンテスト」を開催することができた。④ビルマ汁教室は、夏野菜がたくさん摂れ、簡単で美味しいと好評であった。</p>	<p>①②③④事業内容を充実させ、より効果的な展開方法を検討しつつ、引き続き実施する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①③毎月第3火曜日の「健康デー」は、毎回継続参加者と新規参加者が混在している状況である。集団指導も好評で、体組成計の待ち時間を有効活用でき、かつ町民の健康づくりの実践につながっていくものと考えている。②食育推進委員や関係機関と連携し、「健康レシピコンテスト」を開催したが、応募作品数が少なく実施方法等に課題が残る。④お正月の和菓子教室は、子どもと一緒に食べられる和菓子のデモンストレーション等を行い、美味しい、自宅でも作ってみたいと好評であった。</p>	<p>①③④事業内容を充実させ、より効果的な展開方法を検討しつつ、引き続き実施する。②実施方法について検討していきたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①③「健康デー」で実施している集団栄養教育では、毎回試食を提供している。今回は「野菜を食べよう」をテーマとし、減塩も考慮したメニューを提供した。また、1日に必要な野菜350gを計量してもらい「必要な量がよく分かった」と好評であった。②道の駅ましこレストランで商品化できたことは、多くの町民また町外の方にも町の食育推進をPRでき良かったと思う。</p>	<p>①③「健康デー」での集団教育は町民の健康増進に効果的であると考え、次年度は毎月集団教育(栄養または運動)を実施していきたい。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	健康レシピコンテストについては、今年度の応募状況をみて次年度の実施方法等を検討していきたい。
	第2 四半期	②意見・提言 健康レシピコンテストについて、応募状況、経過を考えると、プロジェクトチームを作って益子産の食材を使った料理を考案してもよいのではないか。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続する。
	総括 （第4 四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	農政課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	食事を通した健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	メタボリックシンドローム該当者の割合	本年度目標値	14.5%	現状値	19.2%
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.4%	現状値	11.6%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		③指定管理者であるましこカンパニーと管理運営協定を締結した。 ③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	5月	③道の駅の指定管理者と業務仕様書に基づき、管理運営協定を締結する。 ③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報を発信する。	③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	6月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	7月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	8月	③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報を発信する。	③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	9月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	10月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	11月	③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報を発信する。	③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	12月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	1月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。		
	2月	③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報を発信する。	③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。 また、保健センター主催、健康レシピ受賞メニューの商品化を行なった。		
	3月		③道の駅販売施設「ましこのマルシェ」及び飲食施設「ましこのごはん」において、地元農産品の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等で情報発信を行なった。 保健センター主催の健康レシピ受賞メニューを商品化、飲食施設において提供した。		

	<p>③担当課の点検・検証                      ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                      以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。</p>	<p>情報発信や農産品の提供については適切に実施されている。                      指定管理者に対して、季節や時期に応じたメニューレシピ等の提供やPOPの活用による情報提供を指導していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。</p>	<p>情報発信や農産品の提供については適切に実施されている。                      指定管理者に対して、季節や時期に応じたメニューレシピ等の提供やPOPの活用による情報提供を引き続き指導していく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。</p>	<p>情報発信や農産品の提供については適切に実施されている。                      指定管理者に対して、季節や時期に応じたメニューレシピ等の提供やPOPの活用による情報提供を引き続き指導していく。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>指定管理者が、業務仕様に基づき適正に業務を行なっている。</p>	<p>食を通じた情報発信が適切に行なわれており、次年度以降も継続して実施していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続して実施していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続して実施していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	企画課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	269人	現状値	308人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		③デマンド運行（利用実績1,260人）		
	5月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,235人）		
	6月		③地域公共交通会議（第1回会議 6/25）を開催し、H29決算報告及び生活交通確保維持改善計画について審議した。 ③デマンド運行（利用実績1,335人） ※第1四半期における対前年比 553人増		
	7月		③デマンド運行（利用実績1,302人）		
	8月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,346人）		
	9月		③デマンド運行（利用実績1,239人） *上半期実績 7,717人（前年度比 975人増）		
	10月		③デマンド運行（利用実績1,346人）		
	11月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,255人）		
	12月		③デマンド運行（利用実績1,229人） 利用累計 H30年12月累計 11,547人 （前年同期比 1,431人の増） 登録者数は3,210人（第2四半期から33人の増）		
	1月		③デマンド運行（利用実績1,079人） ③地域公共交通会議（第2回会議・書面決議）		
	2月	デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,075人）		
	3月		③地域公共交通会議（第3回会議・書面決議）を実施 ③デマンド運行（利用実績1,259人） 30年度利用者累計 14,960人（前年比1,766人増） 登録者数は3,237人（第3四半期から27人の増）		

	<p>③担当課の点検・検証                      ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                      以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③昨年度、同時期と比してデマンドタクシーの利用実績は増加しているため、これを維持していきたい。高齢者が利用の多数を占めており、今後の社会動態からも重要性、必要性がさらに高まるものと考えられるため、さらなる利便性の向上を検討していく必要がある。</p>	<p>利用者数は安定している。利用者増加をさらに図るためPRに努めていきたい。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③デマンドタクシーの利用状況については、全体として前年対比で増加しているため、まずまずの結果と考えるが、1日当りの利用目標人数にはまだ達していない状況である。高齢化社会において益々重要性、必要性が向上していくものと考えられるため、PRに努め、より一層の利用者増加を図っていきたい。</p>	<p>③デマンドタクシーの効率的な運行をめざし、利用者の更なる増加をはかるため、広報ましこ等による制度のPRを行っていく。また、デマンドタクシーのみならず、基幹軸としての真岡鉄道や民間バスとの連携を強化し、公共交通網の充実を進め、町民の生活圏の拡大を図っていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③寒い時期になるため利用者は第2四半期から比べると微減している。全体としては前年比で増加しているので、まずまずの結果と考えている。高齢化社会においてデマンドタクシーは、今後益々重要性、必要性が向上していくものと考えられるため、PRに努め、より一層の利用者増加を図っていきたい。</p>	<p>③引き続きデマンドタクシーのPRを行うとともに、運行委託業者と連絡調整を図りながら、利用者へのサービス向上と運行に係る収支率の改善に努めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③年々、デマンドタクシー利用者が増加していることから、高齢者をはじめ交通弱者の新たな移動手段として、これからも利用者が伸びていくものと考えられる。</p>	<p>③利用希望としては、町内においては、乗り継ぎの利便性向上や12時の時間帯での運行、町外にあっては、町外施設（芳賀日赤）への乗り入れなどがある。費用対効果やデマンド以外の公共交通全体のあり方を総合的に判断していく必要がある。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施していく。
	第2四半期	②意見・提言 デマンドタクシーの上半期利用者が7千人とのことであるが、予約ができなかったという便はなかったであろうか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	③デマンドタクシーは、町内の交通空白地をカバーする公共交通として運行している。利用者が年々増加しており、特に高齢者にとっては、有効な交通手段となっている。町外施設（芳賀日赤）乗り入れに関しては、現段階では真岡鐵道という公共交通があるため、鐵道との併用を推奨している。町外へ直接乗り入れするには、関係団体との協議のほか、地元委託業者の体制整備や、これに伴う費用増加など、実現への課題は大きいものがある。また、地域公共交通機関の共存共栄についても配慮していく必要があることから、デマンドタクシーのあり方については、今後十分に検討していきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 近隣住民のデマンドタクシーの利用の様子を目にして、担当課の指摘のとおり、交通弱者や病弱な高齢者にはますます必要不可欠な手段になると思われるため、引き続き年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。  デマンドタクシーの町外施設への乗り入れについて、運行範囲を広げられず真岡鐵道の利用を促すのであれば、プランの見直しが必要と思われる。	

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	269人	現状値	308人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		4/4星の宮サロン1周年記念行事 4/17ましこの里・新町サロン総会（29年度の実施状況確認）		
	5月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	5/8健康講話（新町サロン） 5/9ふれあいサロン推進事業補助金交付（ましこの里、新町） 5/10ふれあいサロン推進事業補助金交付（いちご） 5/18ふれあいサロン推進事業補助金交付（アップル） 5/22新規ボランティア育成		
	6月		6/13健康講話（星の宮サロン） サロン参加者募集のチラシ作成		
	7月		新規サロンボランティア育成		
	8月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	サロン活動状況確認		
	9月		もの忘れ予防教室参加者募集 介護予防教室野外研修		
	10月		もの忘れ予防教室実施10/9 10/16 10/23 10/30 介護予防教室野外研修 10/2健康講話（ましこの里サロン）		
	11月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	もの忘れ予防教室実施11/6 11/13 11/20 11/27 介護予防教室野外研修		
	12月		もの忘れ予防教室実施12/4 12/11 12/18 12/25ましこの里サロン3周年記念行事		
	1月		もの忘れ予防教室実施1/8 1/15 1/22 1/29 1/28健康講話（いちご）		
	2月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	もの忘れ予防教室実施2/5 2/12 2/19 2/26 2/13健康講話（星の宮）		
	3月		もの忘れ予防教室実施3/5 3/12 3/19 3/26 2/9～3/3離れめぐりにおいて、サロン及び介護予防教室参加者による 作品の展示		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①6月末サロン・教室参加実人数291名（うちサロン109名、一次予防教室100名、自主教室82名） サロンの参加者数は増加している。運営するボランティアの不足もあったが、少しずつ新しいボランティアも加入している。ボランティアが継続して活動ができるよう悩みや相談に乗るよう努めた。参加者が個々の得意分野を生かして講師となり活躍できるよう支援した。</p>	<p>サロンの運営は安定しており、参加者は増えている。今後も参加者を増やすために、サロンの魅力を伝える周知方法をボランティアと検討していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①9月末サロン・教室参加実人数293名（うちサロン109名、一次予防教室102名、自主教室82名） 教室の参加者数は増加している。少しずつ新しいボランティアも加入し、ボランティアの不足も解消してきている。新しいボランティアが継続して活動ができるよう悩みや相談に乗るよう努めた。</p>	<p>教室の参加者は増加している。またサロンもボランティアが増え運営は安定している。ボランティアが継続して活動をおこなえるよう支援をしていく。今後も参加者を増やすために、サロンや教室の魅力を伝える周知方法をボランティアと検討していく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①12月末サロン・教室参加実人数303名（うちサロン115名、一次予防教室92名、もの忘れ予防教室13名、自主教室83名） 参加者数は増加している。もの忘れ予防教室については、自主団体として活動していけるよう支援を行った。サロンについては、安定した活動が継続できるようボランティアの相談支援を行った。</p>	<p>サロンの参加者も増加している。ボランティア中心の運営のため、参加者の体調の急変や認知機能の低下者の対応にボランティアの方が戸惑うサロンも出ている。適切な対応方法についての研修を実施していきたい。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①3月末サロン・教室参加実人数308名（うちサロン116名、一次予防教室100名、もの忘れ予防教室10名、自主教室82名） 参加者数は増加している。離れがりに参加し役場玄関前に作品を展示した。サロンや教室の周知になっていると思われる。もの忘れ予防教室については、自主団体として活動していけるよう引き続き支援を行った。</p>	<p>サロンの参加者も増加している。今後も利用者数が増えるよう、周知方法についてボランティアと相談していく。また安定した運営ができるよう随時相談や支援をおこなっていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	参加者数は増加しており、サロンの運営も安定してきている。引き続きサロン活動の周知とボランティア活動の支援を行っていく。
	第2 四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	サロンや教室の参加者数は増加している。引き続きサロンや教室の周知とボランティア活動の支援を行っていくとともにサロンの増設を推進していく。
	総括 （第4 四半期 も含む）	②意見・提言 事業内容の更なる周知をお願いするとともに、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる		だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	90%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	269人	現状値	308人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月				
	5月	⑤七井小：全校生が高齢者とのふれあい除草活動。 ⑤田野中・七井中学校2年生がマイ・チャレンジ社会体験活動事業で、高齢者との交流活動。 ⑤七井小：5年生が特別支援学校との交流活動。 ⑤七井中：1年生が益子支援学校との交流活動。 ⑤各小中学校：総合的な学習の時間に、高齢者福祉や障害者福祉について体験活動。		⑤5/10 益子特別支援学校との交流活動を実施。（七井小5年生58人） ⑤5/29 高齢者とふれあい除草活動（七井小全学年341人） ⑤5/30 益子特別支援学校との交流活動を実施。（七井中1年生62人）	
	6月			⑤6/13～15 七井中2年生マイ・チャレンジ社会体験活動事業交流活動。七井老人ホームへ2名参加。 ⑤6/18 総合的な学習の時間で、社会福祉協議会をとおして、高齢者講話。車イス、白杖について学習。（七井小4年生:53名） ⑤6/22 総合的な学習の時間で、社会福祉協議会をとおして、高齢者講話。車イス、白杖について学習。（益子西小4年生:48名）	
	7月	⑤田野小・益子小：運動会で高齢者を招き、ふれあい種目を共同。 ⑤益子中：運動会で高齢者介護施設入居者を招待し、接待や介助協力。 ⑤田野中・益子中・七井中：中学生の町ボランティアスクールへの参加体験の周知。 ⑤益子西小：総合的な学習の時間で、友愛作業所・高齢者教室との交流活動。		⑤7/11 総合的な学習の時間で、社会福祉協議会をとおして、高齢者講話。車イス、白杖について学習。（田野小3年生:40名） ⑤7/23 中学生の町ボランティアスクールへの参加：社会福祉協議会（田野中2名・益子中3名・七井中7名） ⑤7/24 中学生の町ボランティアスクールへの参加：光輝舎（田野中3名） ⑤7/27・30・31 中学生の町ボランティアスクールへの参加：ましこの里星の宮（田野中1名・益子中6名・七井中5名）	
	8月			⑤8/1・3・6 中学生の町ボランティアスクールへの参加：友愛作業所（田野中1名・七井中4名）	
	9月			⑤9/8 運動会で高齢者介護施設入居者を招待し、接待や介助協力実施。（益子中） ⑤9/16 運動会で高齢者を招き、ふれあい種目を実施。（田野小・益子小）	
	10月			⑤10/5 総合的な学習の時間で、高齢者及び障害者との交流活動実施。ましこの里ほしのみ・友愛作業所（益子西小4年生:48名） ⑤10/4 益子特別支援学校見学実施（七井小3年生:58名） ⑤10/30 生活科で、祖父母を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（益子小1年生:49名）	
	11月	⑤田野小：総合的な学習で、高齢者にワークショップ形式の講話。 ⑤益子小：低学年の生活科で高齢者を招き、ふれあい学習。 ⑤七井小：3年生が特別支援学校の見学の実施。4年生が特別支援学校との交流活動。 ⑤益子中：2年生がマイ・チャレンジ社会体験活動での介護体験活動。		⑤11/6 生活科で、地域の高齢者を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（七井小1年生：46名） ⑤11/13～15 マイ・チャレンジ社会体験活動で、介護体験活動実施。友愛作業所2名・デイサービスセンターおあしす館2名（益子中2年生:4名） ⑤11/14～16 マイ・チャレンジ社会体験活動で、介護体験活動実施（田野中2年生） ⑤11/15 益子特別支援学校職員講話実施（七井小4年生:53名） ⑤11/27 益子特別支援学校との交流及び協働学習（七井小4年生:53名）	
	12月				
	1月			⑤1/30 生活科で、祖父母を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（田野小1年生:27名）	
	2月	⑤益子西小：1年生の生活科で高齢者を招き、ふれあい学習の実施。 ⑤七井小：1年生の生活科で、交流活動。		⑤2/4 生活科で、祖父母を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（益子西小:51名）	
	3月				

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>高齢者との交流については各小中学校で実施及び実施予定である。特別支援学校との交流については、七井地区のみになっているため、今後、検討していきたい。 総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小5年生「(環境・福祉)今、私にできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)いろいろな人の気持ちになって」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」、益子中3年生「(国際理解、情報、環境、福祉・健康)【社会】益子から」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉)福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解)今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解)社会の問題を見つけよう～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
第1 四半期		委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	関係機関との連携をし、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を行い、福祉教育を充実したい。
	第2 四半期		
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	次年度も、各学校の福祉教育を総合的な学習の時間や生活科、学校行事等において、計画的に実施できるよう、支援したい。
	総括 （第4 四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の	進捗状況	90%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	269人	現状値	308人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	④高齢者講師の暮らしに役立つ講座 年間講座のプランニング作成 講座の開催	開催計画の作成		
	5月		開催計画の作成		
	6月		開催計画の作成 いきいき講座主催講座 4件 町主催講座 8件		
	7月	④講座の実施			
	8月		広報ましこお知らせ版9月上半期（8/26発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（尺八・華道）		
	9月		広報ましこお知らせ版9月下半期（9/9発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（山ゆり・押し花） 9/11尺八教室開催 参加者集まらず 9/22華道教室 9名参加		
	10月		10/20山ゆり栽培講習会 6名参加 10/24押し花教室 1名参加 10/27華道教室 9名参加		
	11月				
	12月				
	1月	未実施			
	2月				
	3月				

	<p>③担当課の点検・検証                  ( ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 )</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                  以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>高齢者の生きがいにもなることから、継続して進める。</p>	<p>広報お知らせ版やホームページ等で幅広く周知していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>参加者委が集まらない講座がでてしまった。</p>	<p>魅力ある講座の開催のための掘り起こし</p>
<p>第3四半期</p>	<p>新しい講座が見つからない。町民のつどいを開催するにあたり、情報収集した部分を講座開催に活かせないか検討。</p>	<p>魅力ある講座の開催のための掘り起こし</p>
<p>第4四半期</p>	<p>当初計画がなかったため未実施。</p>	<p>魅力ある講座の開催のための掘り起こし</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	計画的な事業運営を行う
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	計画的な事業運営を行う
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	総務課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	61件	現状値	98件（1～12月）
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	19件	現状値	17件（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月		②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 10回 1915人 免許返納 3名 交通安全の注意喚起（防災無線・メール） ③防災マップの配布（全戸配布）		
	5月	① 地域の見守り体制として青色パトロール講習会の実施 ② 交通事故防止のための運転免許返納事業PR、高齢者・子ども交通安全教室の実施 ③ 防災マップの配布	①青色防犯パトロール講習会実施 11名 特殊詐欺等の注意喚起（防災無線・メール） ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 24回 736人 高齢者 2回 45人 免許返納 3名 H30累計6名		
	6月		①特殊詐欺等の注意喚起（防災無線・メール） ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 26回 795人 高齢者 2回 60人 免許返納 3名 H30累計9名 ③YAHOOと災害協定締結		
	7月		①特殊詐欺等の注意喚起（防災無線・メール） 青色パトロールの実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 10回 594人 高齢者 2回 40人 免許返納 2名 H30累計11名 交通事故の注意喚起（防災無線・メール）		
	8月	v	②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 4回 230人 高齢者 2回 55人 免許返納 6名 H30累計17名 ③自主防災組織の立上サポート		
	9月		①特殊詐欺等の注意喚起（防災無線・メール） 青色パトロールの実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 5回 333人 高齢者 2回 60人 事故多発により国道の道路改良を土木事務所へ要望		
	10月		①青色パトロールの実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 7回 783人 高齢者 2回 40人 免許返納 4名 H30累計21名 ③自主防災組織の立上サポート ④防災訓練実施 15,078参加		
	11月	① 地域の見守り体制として青色パトロールの実施 ② 交通事故防止のための運転免許返納事業PR、高齢者・子ども交通安全教室の実施 ③ 自主防災組織の立上サポート ④ 防災訓練の実施	①特殊詐欺等の注意喚起（防災無線・メール） 青色防犯パトロール実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 8回 624人 免許返納 5名 H30累計26名 ③自主防災組織の立上サポート		
	12月		①交通安全・特殊詐欺の注意喚起（防災無線） 青色防犯パトロール実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 6回 480人 免許返納 5名 H30累計31名 ③自主防災組織の立上サポート		
	1月		①交通安全・特殊詐欺の注意喚起（防災無線） 青色防犯パトロール実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 8回 830人 免許返納 5名 H30累計36名 ③自主防災組織の立上（北中、西明寺）		
	2月	① 地域の見守り体制として青色パトロールの実施 ② 交通事故防止のための運転免許返納事業PR、高齢者・子ども交通安全教室の実施	①交通安全・特殊詐欺の注意喚起（防災無線） 青色防犯パトロール実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 7回 309人 免許返納 3名 H30累計39名 ③事故多発により国道の道路改良を土木事務所へ要望（町境） ④災害協定締結		
	3月		①交通安全・特殊詐欺の注意喚起（防災無線） 青色防犯パトロール実施 ②交通安全教室の実施、免許返納関係 学生 5回 232人 免許返納 7名 H30累計46名 ③災害協定締結		

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
	<p>②交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながると考える。                  刑法犯の発生件数は、47件(5月末)対前年比 増10件となっている。                  交通事故発生件数は、6件(5月末)対前年比 減1件となっている。</p> <p>②運転免許の自主返納事業については、交通インフラが良くないため、返納したがない人が多いが毎月申請がある状況となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さにより窓を開けておく家が多くなるため、忍び込み等の犯罪が増加傾向にあるため、注意喚起を行うなどする。</li> <li>・交通事故発生を抑制するため、警察と協力し交通安全を呼びかける。</li> </ul>
<p>第2四半期</p>	<p>②交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながると考える。                  刑法犯の発生件数は、61件(8月末)対前年比 減8件となっている。                  交通事故発生件数は、11件(8月末)対前年比 減1件ではあるが、死亡事故1件が発生してしまった。</p> <p>②運転免許の自主返納事業については、交通インフラが良くないため、返納したがない人が多いが9月末で17名、対前年比 増6名となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日没時間が早くなる季節であるため、公用車での青色防犯パトロールを強化する。</li> <li>・特殊詐欺が多くなってきているので警察と連携し注意喚起を行う。</li> <li>・交通安全教室を継続し、交通事故防止へつなげる。</li> </ul>
<p>第3四半期</p>	<p>②交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながると考える。                  刑法犯の発生件数は、92件(11月末)対前年比 増8件となった。                  交通事故発生件数は、17件(11月末)対前年比 減2件となっている。</p> <p>②運転免許の自主返納事業については、交通インフラが良くないため、返納したがない人が多いが12月末で31名、対前年比 増14名となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊詐欺に依然と被害に遭う方がいるので警察と連携し注意喚起を行う。</li> <li>・交通安全教室を継続し、交通事故防止へつなげる。</li> </ul>
<p>第4四半期</p>	<p>①特殊詐欺対策については、継続して注意喚起を行っていく。                  ②交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながると考える。                  刑法犯の発生件数は、98件(12月末)対前年比 増10件となった。                  交通事故発生件数は、17件(12月末)対前年比 減6件となっている。</p> <p>②運転免許の自主返納事業については、交通インフラが良くないため、返納したがない人が多いが46名、対前年比 増13名となっている。</p> <p>③益子町内の大型店舗(ドラッグストア除く)、畳提供プロジェクトと災害協定を締結した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊詐欺に依然と被害に遭う方がいるので警察と連携し注意喚起を行う。</li> <li>・交通安全教室を継続し、交通事故防止へつなげる。</li> </ul>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時停止対策については、警察等と連携し、広報やHP、SNS等で周知を図る。</li> <li>・道路改良については、引き続き要望していく。</li> </ul>
	第2四半期	②意見・提言 通学路の中で信号がない横断歩道で横断待ちをしている歩行者がいるとき、自動車が停止線で止まる割合が栃木県が一番悪いということである。一時停止対策のため、標示板・啓発看板等を設置するのはいかがか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	61件	現状値	98件（1～12月）
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	19件	現状値	17件（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		特になし		
	5月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	特になし		
	6月		定例会時に安全メールの紹介（6/15）		
	7月		特になし		
	8月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	特になし		
	9月		特になし		
	10月		災害時の民生員活動に関する研修及び意見交換会（10/9） 防災訓練参加（10/21）		
	11月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	中学校区毎に行っている今年度の学校との懇談会終了（11/1）		
	12月		意見交換会（12/14）		
	1月		特になし		
	2月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の提供	特になし		
	3月		意見交換会（3/22）		

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                  以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>民生委員・児童委員に役立つよう安全メールの紹介を行った。</p>	<p>民生委員活動を通じ、安全メールの普及活動をしていただく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②今後も連携を保つ。</p>	<p>②民生委員同士の意見交換を行う。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②今後も連携を保つ。                  10月の研修・意見交換会は他市と合同で行った。合同で研修を行う事によりお互いに勉強になったとの意見が出た。</p>	<p>②民生委員同士の意見交換を行う。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②今後も連携を保つ。</p>	<p>②民生委員同士の意見交換を行う。                  12月は改選のため自治会長会議でお知らせする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	年間計画に沿って事業を進めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	年間計画に沿って事業を進めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	建設課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	61件	現状値	98件（1～12月）
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	19件	現状値	17件（1～12月）
KPI		本年度目標値			
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	④通学路の危険箇所を点検・整備し、交通事故の防止に努める。	④補助事業交付申請ヒアリング（4/19）・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事実施		
	5月		④今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施（5/18）・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事実施		
	6月		④町道18号七井大平線測量業務の開始。・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事実施		
	7月		④国道294号道路建設期成同盟会総会、要望活動（7/18）・繰越事業の町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線改良工事完了		
	8月		④町道18号七井大平線説明会（8/24）「とちぎの道」道路の現場検証実施（8/31）・町道4号栗崎道祖土線舗装工事実施		
	9月		④町道4号栗崎道祖土線舗装工事完了		
	10月		④安全・安心の道づくり県民大出席（10/2）、通学路安全推進協議会（10/3）道路事業ヒアリング（10/9）、国道121号整備促進同盟会総会・要望出席（10/19）		
	11月		④橋梁点検打合せ（11/6）、小貝川説明会（11/11）、鹿島・宇都宮間国道昇格期成同盟会要望活動（11/20）		
	12月		④交付金事業ヒアリング（12/3）、栗崎道祖土線土木打合せ（12/10）鹿嶋宇都宮線現地打合（12/14）		
	1月		④町道18号七井大平線測量設計に関する地権者への説明（1/9）		
	2月		④町道18号七井大平線測量設計業務発注（2/6）、町道18号七井大平線測量設計に関する地権者への説明（2/6）他		
	3月		④町道18号七井大平線測量設計業務完了（3/25）、橋梁点検業務委託（10㎡以上46橋）の完了		

	<p>③担当課の点検・検証                  ( ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 )</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④県土整備に対し、真岡土木事務所と意見交換会を実施した。今年度の事業及び今後の事業について意見を交換した。繰越となっている町道4号栗崎道祖土線及び町道284号西浦線の工事を進めた。・町道18号七井大平線の道路改良のための測量を開始した。</p>	<p>④県と連携し、国県道の事業の促進や要望箇所等を協議していく。繰越となっている町道4号栗崎道祖土線及び町道284号西浦線の工事の速やかな完了を目指す。・町道18号七井大平線の道路改良工事に向け、地元説明などの準備を進める。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線の歩道工事の完了、町道4号栗崎道祖土線の舗装工事開始・町道18号七井大平線の地元説明会を行った。</p>	<p>④町道4号栗崎道祖土線、町道284号西浦線の工事が完了し供用開始した。「とちぎの道」道路の現場検証で出された意見を今後の国県等への要望活動に活かしていく。・町道18号七井大平線の事業実施に向け準備を進める。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④町道各改良工事、維持工事の発注を行った。また、維持のための橋梁点検を開始した。県道、町道等を含む要望活動を行った。</p>	<p>④国県道、河川に関するものは要望や説明会に参加し、検討の協力を仰いでいく。各工事については安全に、また速やかな完成を目指し進めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④町道18号七井大平線測量設計に関する地権者への説明を行った。また、了解を得て測量設計業務を行った。</p>	<p>④町道18号七井大平線の用地測量、補償関係業務を進めていく。その後速やかに工事に着手できるよう努める。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	③「とちぎの道」の検証や通学路点検の中で点検等を行っており、表示板等の設置については、総務課消防交通係や警察等と協議し、必要なものについては設置を検討していく。
	第2四半期	②意見・提言 通学路の中で信号がない横断歩道で横断待ちをしている歩行者がいるとき、自動車が停止線で止まる割合が栃木県が一番悪いということである。一時停止対策のため、標示板・啓発看板等を設置するのはいかがか。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	90%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	61件	現状値	98件（1～12月）
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	19件	現状値	17件（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			②地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請(4/2) ②スクールガード・リーダー委嘱状交付、スクールガード報告・保険加入(4/4) ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会出席者報告(4/20) ②春の全国交通安全運動広報用チラシ・ポスター、学校安全教室用資料、新入生誘拐防止チラシ、交通事故発生状況資料、通学路安全確保依頼文書を各小中学校配布(4月随時)	
	5月	②スクールガード・リーダー委嘱状交付 ②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②各小中学校へスクールガード名簿提出依頼、ボランティア保険加入処理 ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会の出席者確認報告後日資料をスクールガードへ情報提供配布。 ②平成30年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請 ②平成29年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金入金		②4月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(5/7) ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会実施(5/14) ②各小中へ児童生徒の犯罪被害防止取組強化通知配布(5/14) ②「ぼうはんカレッジ2018」案内通知配布(5/29) ④益子中にてスマート・ストリート方式交通安全教室実施(5/17) ②H29地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金入金(5/30)	
	6月			②5月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(6/4) ②平成30年度交通安全ファミリー作文コンクール募集案内周知(6/19) ②各小中学校へ「登下校防犯プラン」配布(6/26)	
	7月			②6月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(7/2) ②各小中学校へ「防犯カレッジ2018開催通知」「2019交通安全年間スロガソ募集通知」「防犯ポスター・地域安全マップ募集通知」「犯罪被害者標語」配布(7月随時)	
	8月	②スクールガード装備品(信号灯等)不足分購入・配布 ②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査 ④益子町通学路安全対策推進協議会開催にあたり、各小中学校、スクールガード・PTA等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼		②7月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(8/2) ②各小中学校へ「防犯・危機管理e-カレッジ活用案内通知」「登下校時における児童生徒等の安全確保充実」「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」「交通事故で家族を亡くした子供の支援のボツウム」とちぎ防災ハットブック2018」通知・チラシ配布(8月随時)	
	9月			②8月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(9/3) ②各小中学校へ「H30交通安全運動の実施について」「安全で安心なまちづくり地域交流会開催」「登校時の子供の安全確保について」通知配布(9月随時)	
	10月			②9月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(10/3) ④益子町通学路安全対策推進協議会開催(10/3) ②七井小学校にて7名の新規スクールガード申請登録あり(9/10)	
	11月	②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ④益子町通学路安全対策推進協議会開催 各小・中学校、スクールガード・リーダー、真岡土木事務所、真岡警察と共に通学路の危険箇所の合同点検実施。 また前年度の対策実施後の効果把握。 対策一覧表・対策箇所図を作成・公表、関係機関で認識共有。		②10月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(11/2) ②田野小学校にて1名の新規スクールガード申請登録あり(11/8) ②各小中学校へ「年末交通安全県民総ぐるみ運動」要項・チラシ配布(11/15)、「横断歩道における歩行者優先広報」配布(11/19)「学校安全コーディネーター養成研修開催通知」配布(11/21)	
	12月			②11月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(12/3) ④益子町通学路安全対策推進協議会【対策一覧表・対策箇所図】公表(12/8) ②各小へ「自転車シミュレーターを使用した交通安全教室」募集案内通知配布(12/21)各小中へ「登下校時における児童生徒の安全確保徹底について」文書配布(12/28)	
	1月			②12月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/8) ②小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布依頼(1/9) ②スクールガード装備品(信号灯15個)購入・配布(1/16)	
	2月	②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②新小学1年生へ防犯ブザー購入、1日入学時に配布 ②小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布 ②「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ②スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理 ②次年度のスクールガード・リーダー継続確認 ②平成30年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出		②各小中・スクールガード・リーダーへ「安全で安心なまちづくり地域交流会」開催通知通知配布(2/1)「2019春の交通安全県民総ぐるみ運動の効果的推進」通知配布(2/15) ②1月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(2/1) ②スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理・次年度継続確認(2/21)	
	3月			②2月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(3/1) ②平成30年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出(3/5) ②「広報ましこ(おしらせ版)」にてスクールガード募集案内周知(3/10)各小中学校へ「春の交通安全県民総ぐるみ運動」要綱・チラシ等送付(3/8)「2019年度文部科学省交通安全業務計画書」送付(3/14)「学校安全資料生きたる力をはぐくむ学校での安全教育」配布(3/14)「2019春の全国交通安全運動の実施について」配布(3/18)「小学校新入生に対する誘拐防止用チラシ」配布(3/20)	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②平成30年度のスクールガード数は74名であった。 (昨年度より1名減少) 平成29年度 75名 平成28年度 78名 平成27年度 87名 平成26年度 84名 平成25年度 86名 平成24年度 84名 平成23年度 80名</p> <p>スクールガード平均年齢 平成30年度 65歳(最高齢は84歳) 平成29年度 65歳 平成28年度 63歳</p> <p>これらの結果から、【スクールガードの新規加入者の減少、高齢化】という課題が確認できる。</p>	<p>②【スクールガードの新規加入者の減少、高齢化】という課題を解決するため、新規登録者確保に取り組む。</p> <p>今年度も年度当初に「広報ましこ(お知らせ版)」に募集案内を掲載。広報配布時、全戸回覧形式にて募集案内通知配布を実施。</p> <p>過去の傾向を見てみると、孫が新1年生でスクールガードに加入する方が多い。よって益子町内4小学校1日入学時に、全保護者宛に新規募集案内通知を配布予定。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④平成30年度益子町通学路安全対策推進協議会の開催(10月3日開催予定)にあたり、8月～9月にかけて益子町立各小学校中学校、スクールガードリーダー・益子町PTA連絡協議会、益子町交通指導員等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼をした。結果、今年度は7カ所の新規危険箇所申請があった。10月3日の合同点検にて現場視察及び対策方法等を協議予定。</p>	<p>④益子町通学路安全対策推進協議会の開催前の危険箇所申請依頼は例年実施しているが、危険箇所申請は随時ある。町道の場合、建設課相談ですぐに対応出来る件もあるので、今後も申請があった場合はその都度確認する方針で対応したい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②10月3日、平成30年度益子町通学路安全対策推進協議会を開催。 (平成26年度から開始し、今回で5回目となる) 今年度新たに申請のあった7箇所の現場視察を実施した。</p> <p>その後、事業主体を中心に新規7カ所の対策内容を協議した。また、昨年度までに視察・対策検討済みの32カ所について、事業主体ごとに現時点での対策進捗状況報告を行い情報共有ができた。</p> <p>対策一覧表・対策箇所図について、12月18日に公表。 今年度から、従来の関係者への文書公表のみの方法から、町ホームページへの掲載を追加し、公表方法を改善した。</p>	<p>②益子町通学路安全対策推進協議会の通学路危険箇所視察時において、真岡土木事務所、真岡警察、各小中学校通学路担当教諭、スクールガードリーダー、益子町交通指導員、益子町PTA連絡協議会、益子町建設課・総務課等、様々な立場の方々による現場説明は大変役に立ち、通学時の現状詳細を十分に把握することができた。</p> <p>次期四半期には各小学校の1日入学説明会があるので、スクールガードの勧誘チラシの作成、配布を実施し、新規スクールガード確保に務めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②2月中旬の各小学校1日入学説明会時に、新規スクールガードの勧誘チラシ配布を実施。また3月末の町広報にて2度に渡り募集案内情報を掲載。更に3月の各自治会回覧にて勧誘チラシを配布し周知活動に努めた。 新規加入者確保のため、募集周知活動の必要性があった。</p>	<p>②その必要性をふまえ、次年度も「益子町健康ポイント」等の特典や、装備品の無料貸付、負担にならない活動内容等の情報を広く発信し続け、スクールガード登録数の増加に努めたい。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を確実にを行い、防犯・防災体制、交通安全対策の充実に努めたい。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営をされたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	次年度も、スクールガードリーダーと連絡を密に取り合い情報を連携し、スクールガードの新規登録者募集の為の周知活動に力を入れ、年間計画に沿った事業運営を継続したい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	